

商 工 労 政 課

○ 雇用対策事業

(款) 5. 労働費 (項) 1. 労働諸費 (目) 1. 労働諸費

1 若年求職者等支援事業

若年者の中には、離職を繰り返す方、働く意欲はあるものの就職に至らない方、働く意欲が低下するなど社会生活そのものが困難な方など、職業的な自立が困難な方が多数存在しており、その要因は多岐に及ぶ。

この状況に対応するために、49歳までの若年無業者(いわゆるニート)等の支援を担う拠点として特定非営利活動法人いせコンビニネットが厚生労働省から委託を受け開所している「いせ若者就業サポートステーション」に対し、下記の業務を委託し、若年無業者の支援に努めた。

(1) 伊勢市若者就職総合支援業務委託

- ・ 実施期間 令和7年4月17日～令和8年3月31日
- ・ 委託先 特定非営利活動法人 いせコンビニネット
- ・ 支出額 4,169,260円

委託内容	実施回数	延べ利用者数
①臨床心理士による心理カウンセリング	回 12	人 32
②適職診断等を用いた若者キャリア開発プログラム	30	93
③セミナー・講座	53	160
④ボランティア体験	22	47
⑤就労体験	52	135
⑥市内事業所企業見学会	7	23
⑦講演会	1	参加者数 30

- ・ 就職者等の人数 22人

2 雇用就労支援事業

(1) 伊勢で見つける。じぶん発見! 「好き」を仕事にするセミナー

地元の魅力を再確認しながら、好きな仕事に就くために必要な企業情報や労働状況などを提供するセミナーをハローワークと共催した。

- ・ 開催日 令和7年12月5日(金)
- ・ 場所 ハートプラザみその
- ・ 参加者数 21人

(2) 障がい者雇用促進の取り組み

企業の障がい者雇用に関する理解を深め、雇用拡大の契機とすることを目的として、ハローワークと連携しながら、企業と支援機関の交流会を開催した。

- ・開催日 令和8年2月13日（金）
- ・場 所 伊勢市生涯学習センターいせトピア
- ・内 容 企業向けセミナー、企業と支援機関の交流会
- ・参加者 企業向けセミナー・・・企業数 26 社、支援機関数 6 機関
意見交換会・・・・・・・・・・企業数 9 社、支援機関数 5 機関

（３）伊勢常若経営支援講座

デジタル化の進展など企業・労働者を取り巻く環境が急速に変化する中、学び直し（リカレント教育）の重要性が高まっており、当地域においてもリカレント教育を推進するため産学官（地域高等教育機関や商工団体）が連携し、3回連続講座を開催した。

- ・開催日 令和7年9月8日（月）、9月25日（木）、10月4日（土）
- ・場 所 伊勢商工会議所
- ・内 容 経営者層が自社の魅力発信に関する知識やノウハウの習得を支援するもの。
- ・参加者数 15 人

（４）南三重地域就労対策協議会

若者の地元就職・定着を目的に設立された南三重地域 16 市町で構成する南三重地域就労対策協議会（会長：松阪市長）に参画した。

- ・負担金額 399,648 円
- ・主な取組 就職マッチング支援サイトの運営
会員企業数 258 社、会員求職者数 100 人
就職者等の人数 1 人

（５）企業等奨学金返還支援補助金

企業等の人材確保及び若者の定住促進を図るため、従業員の奨学金の返還を支援している企業等に対し、経費の一部を補助した。

- ・補助金の額 補助対象経費に2分の1を乗じて得た額とし、対象従業員1人当たり120,000 円/年、5 年を限度。

申請件数	補助額
1 件（2 名分）	185,000 円

（６）若者地元就職応援奨学金返還支援補助金

大学等を卒業後（既卒者にあつては、支援対象者の認定を受けた日後）、市内に居住かつ就業等を条件に、大学等における修学のため借り入れた奨学金の返還を行う若者に対し、費用の一部を助成する制度を創設した。

- ・補助金の額 奨学金の返還額の4分の1（上限 60 万円）
- ・補助金の交付 市内での居住及び就業が通算4年経過後、補助金額の3分の1、8 年経過後に残額を交付する。
- ・支援対象者認定人数 8 人

(7) ITパスポート取得支援補助金

情報処理技術に精通する者の確保及び育成を図るため、情報処理に関する基礎知識を習得していることを証明するITパスポート試験合格者に対して、受験に係る経費の一部を助成した。

- ・補助金の額 試験の受験手数料に3分の2を乗じて得た額とし、5,000円を限度とする。

補助件数	補助額
50件	250,000円

(8) 「Out of KidZania in いせ」の開催

こども達の職業・社会体験施設「キッズニア」の企画・運営を行っているKCJ GROUP(株)による監修の下、児童生徒を対象とした地元企業の仕事体験ができる「Out of KidZania in いせ」を開催した。開催にあたっては、関係団体で構成する実行委員会を組織し企画運営を行った。

- ・開催日 令和7年11月8日(土)、9日(日)
- ・場 所 出展企業店舗等
- ・対 象 小学1年生～中学3年生
- ・プログラム数 17プログラム
- ・主 催 アウトオブキッズニア in いせ実行委員会
構成組織：伊勢商工会議所、伊勢商工会議所青年部、伊勢小俣町商工会、伊勢市PTA連合会、伊勢市教育委員会、伊勢市
- ・参加者 延べ316人(実人数219人)
- ・支出額 7,194,107円

3 中小企業退職金共済制度奨励補助金

従業員の福祉増進を支援するため、特定退職金共済制度または中小企業退職金共済制度に、新たに従業員を加入させた事業者には補助金を交付した。

- ・補助対象経費 新たに制度に加入させた従業員の掛金について、契約が成立した月から起算して、12ヶ月分の掛金の納付額
- ・補助金の額 補助対象経費の20%(12,000円/人/年を限度)

補助件数	補助額
73件	1,941,000円

○ 勤労者福祉事業

(款) 5. 労働費(項) 1. 労働諸費(目) 1. 労働諸費

1 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター補助金

中小企業で働く勤労者の福祉制度の充実を推進し、併せて勤労者福祉の向上と中小企業の発展を図るため、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターに補助金を交付した。

- ・名 称 一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンター
- ・所在地 御園町長屋 1221
- ・実施事業 生活安定事業、福利厚生事業（健康管理事業、教室事業、余暇活動事業、余暇施設事業）など
- ・補助金額 13,861,000 円（うち伊勢市負担金額 10,921,000 円）
- ・会員数 802 事業所、5,279 人(令和 8 年 3 月時点)

2 勤労者ふれあい事業

一般社団法人伊勢志摩労働者福祉協議会等と共催で、2025 福祉フェスティバル「勤労者ゆとり T・I・M・E y o u ・ ゆ う ・ 遊 i n g」を 10 月 5 日（日）に三重県営サンアリーナで開催し、約 10,000 人に来場いただいた。

- ・支出額 1,000,000 円
- ※「伊勢市環境フェア」と同時開催

○ 高年齢者労働対策事業

（款）5．労働費（項）1．労働諸費（目）1．労働諸費

1 高年齢者労働能力活用事業費補助金

高年齢者への就業機会の提供を通じて、生きがいや生活の充実を図ることを目的に設立された公益社団法人伊勢市シルバー人材センターに対して、管理運営費の補助を行った。

- ・名 称 公益社団法人伊勢市シルバー人材センター
- ・所在地 西豊浜町 141 番地 1
- ・実施事業 高齢者に相応しい臨時的・短期的な就業（軽作業）、福祉・家事援助サービス等の提供
- ・補助金額 16,343,000 円
- ・会員数等 会員数 709 人、のべ就業人数 62,461 人、受託件数 2,534 件、
- ・契約金額 365,953,779 円(令和 8 年 3 月末時点)

○ 勤労者福祉施設管理運営事業

（款）5．労働費（項）1．労働諸費（目）1．労働諸費

1 サンライフ管理経費

令和 5 年度末をもって廃止したサンライフ伊勢の解体工事を実施した。

（1）工事関係

施 行 場 所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
八 日 市 場 町 地 内	(注) サンライフ伊 勢解体工事	解体工事一式	円 81,620,000	7. 9. 9	8. 3. 6

一志町 地内	公共施設案内 看板撤去工事	看板撤去工事一式	円 1,078,000	8. 1. 8	8. 3. 27
-----------	------------------	----------	----------------	---------	----------

(注) 営繕課施行

・支出額 82,720,127 円

(2) 備品の処分

旧サンライフで使用していた備品（トレーニング機器）について、一般競争入札により売却を行った。

・売買数量 15 品

・売買代金 330,000 円

2 労働福祉会館管理運営事業

労働者の福利増進及び市民の文化向上に寄与するため、会議室の貸室、受付等業務委託及び維持管理を行った。

・使用件数及び使用者数

区 分	大会議室	第 1 会議室	第 2 会議室	第 3 会議室	第 4 会議室	計
使用件数	件 70	件 384	件 111	件 88	件 202	件 855
使用者数	人 3,931	人 18,294	人 2,312	人 964	人 1,606	人 27,107

・支出額 9,697,283 円

・使用料収入 1,897,340 円

工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
勢田町 地内	労働福祉会館屋外階段塗装改修工事	塗装改修工事一式	円 1,958,000	8. 1. 15	8. 3. 6

○ 消費生活関連事業

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 1. 商工総務費

1 消費生活センター運営事業

近年、多様化・巧妙化する消費生活に係る問題の早期解決や被害の拡大防止・未然防止を図り、住民が安全・安心な消費生活を送ることができるよう、住民からの消費生活に関する相談に専門の相談員が対応するとともに、消費生活に関する情報の提供や消費者啓発を行った。

(1) 消費生活相談業務

令和4年4月1日から連携市町とともに広域化した伊勢市消費生活センターにおいて、伊勢市を含めた連携市町の住民から寄せられる架空請求や悪質商法など消費生活トラブルに関する相談に、専門の相談員が対応した。主に電話又は対面（窓口）により、相談者への助言や相談内容によっては事業者への確認や事業者との交渉の手助けなどを行うことでトラブル

の早期解決に努め、安全・安心な消費生活を送ることができるよう取り組んだ。

連携市町	鳥羽市、志摩市、玉城町、大紀町、南伊勢町
消費生活相談件数	1,356 件 うち伊勢市 847 件

(2) 啓発活動

消費者被害を未然に防ぐため、関係機関等と連携を取りながら、高齢者クラブを中心に出席講座を実施した。講座内容は、伊勢市消費生活センターの紹介や消費者被害から身を守るために気をつけることなどについて、オリジナルの啓発動画などを使い、最新事例を交えたわかりやすいものとした。

また、市内の地域包括支援センター等と連携し高齢者の利用が見込まれる 29 施設、市内高等学校 9 校、連携市町で開催された成人式において啓発チラシ・パンフレットを配布した。

市内外で開催されるイベントにブース出展し、伊勢市消費生活センターの周知を図るとともに市及び連携市町のホームページや広報誌、また、市公式 L I N E を活用した情報発信等で啓発を行った。

内 容	対 象	件 数
消費生活出席講座等	高齢者クラブほか	件 30 (7)
高齢者向け啓発チラシ配布	地域包括支援センターほか	1
若年者向け啓発チラシ配布	市内高等学校 2 年生全員ほか	6 (5)
イベント会場へのブース出展	イベント来場者	6 (3)
ホームページ等での情報発信	市民	161 (28)

※ () は内数で連携市町における啓発回数等

(3) 多重債務対策

多重債務者から相談があった際は、同センターにて受け付け、債務状況や家族構成等の基本的な事項を聴き取ったうえで、認定司法書士や弁護士事務所を紹介、相談予約し、確実に法律専門家へと繋げることで、多重債務問題の解決に努めた。

また、毎月第 3 木曜日には三重県司法書士会伊勢支部の協力のもと、無料多重債務相談会を実施した。

無料多重債務相談会受付件数	36 件
---------------	------

○ 中小企業振興対策事業

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 2. 商工業振興費

Ⅰ 地域商業活性化事業

交通環境の変化や大型店の郊外への出店などの要因から、中心市街地商店街等の集客力・求心力が低下している。市内商業団体等が自主的かつ継続的に取り組む商業活動を推進できるよう、組織の育成・確保を進め、地域のにぎわいを創出し、地域商業の活性化に資する取り組みを行う商業団体等に対して負担金等を支出した。

(1) 商店街等振興対策事業

ア 商店街等空店舗対策事業

中心市街地商店街等の集客力の向上及び機能回復の促進を目的として、中心市街地商店街等の空店舗の解消を図るため、空店舗対策を実施する商店街等に対し、伊勢まちづくり株式会社が行う補助事業に負担金を支出した。

また、令和5年度から店舗兼居宅で出入口が同じなどの事由により貸し出しができない空店舗の解消を図るため、その空店舗の所有者に対して、内装工事費を助成する制度を新たに設けた。さらに、令和7年度からは所有者・親族以外の居住や居住者なしでも助成の対象となるように要件を緩和した。

○伊勢市中心市街地空店舗出店促進事業補助金

	実施主体（商店街等）	件数	補助金額
新規	伊勢銀座新道商店街振興組合	件 1	円 120,000
貸出	伊勢市駅前商店街振興組合	1	1,000,000
計（2件）			1,120,000

イ 商店街等活性化対策事業

商店街等の発展及び活性化を図るため、消費者にとって魅力のある商店街づくりや賑わいの創出を行う商店街等に対し、伊勢まちづくり株式会社が行う補助事業に負担金を支出した。

○商業まちづくり補助金事業

	実施主体（商店街等）	事業名	補助金額
新規	協同組合伊勢マーケット	伊勢マーケット にぎわいフェス	円 23,000
継続	外宮参道発展会	外宮さんちびっこ博士グランプリ及び竹あかりの献灯	150,000
	伊勢銀座新道商店街振興組合	しんみち歳末大感謝祭&山商×しんみちフェスタ	150,000
計（3件）			323,000

ウ 商店街等通行量調査実証実験事業

各商店街等におけるにぎわい創出の効果や、来街者の動向を把握し、今後の商店街等の活性化に対する指標とするため、定点AIカメラ等の機器を用いて年間を通した調査を行う伊勢まちづくり株式会社に対して、負担金を支出した。

設置箇所	令和7年度 通行量	令和6年度 通行量	令和5年度 通行量	前年度 対比	前々年度 対比
伊勢市駅前商店街	人 150,699	人 141,071	人 126,246	% 106.8	% 119.4
外宮参道	1,561,826	1,467,602	1,470,702	106.4	106.2
高柳商店街	386,486	321,818	379,736	120.1	101.8
新道商店街	174,517	151,809	138,342	115.0	126.1
合計	2,273,528	2,082,300	2,115,026	109.2	107.5

(2) 伊勢まちづくり株式会社事業推進補助金

伊勢市の賑わい創出やまちなかの活性化を目的に策定された中心市街地活性化基本計画において、中心市街地活性化協議会の必須構成員である伊勢まちづくり株式会社が継続的に事業を推進するために、伊勢まちづくり株式会社に対し補助金を交付した。

補助件数	補助額
1件	1,800,000円

(3) 商業魅力アップ支援事業補助金

伊勢市内の商業振興を図るため、地域住民及び観光客のニーズに応える商業環境の整備やにぎわいの創出に新たに取り組む商業団体等に対して、事業費の一部を補助した。

交付先	事業名	補助金額
協同組合伊勢マーケット	観光客・外国人客誘致のための伊勢マーケット看板・照明設置事業	円 289,000
伊勢市河崎本通り活性化会議	伊勢河崎地区の魅力醸成するまち歩きマップ作成等事業～史跡・文化から衣食住の生活景を紡ぎだす～	400,000
外宮参道発展会	令和7年度外宮参道事業計画策定事業	813,000
伊勢市駅前商店街振興組合	月の宮パークレット・オープニングイベント～街のテラスで未来とつながる1日～	653,000
計(4件)		2,155,000

2 経営強化支援事業

(1) 経営改善普及事業補助金

伊勢商工会議所中小企業相談所及び伊勢小俣町商工会が実施する中小企業者の経営改善及び経営強化に向けた取り組みを支援するため、経営指導事業等に要する経費に対し、補助金を交付した。

交付先	補助金額
伊勢商工会議所	円
伊勢中小企業相談所	10,000,000
伊勢小俣町商工会	7,540,000
計(2件)	17,540,000

(2) 専門家派遣事業補助金

中小企業者への経営指導の充実化、中小企業者が抱えている課題の解決を図るため、伊勢商工会議所中小企業相談所及び伊勢小俣町商工会が行う専門家派遣に係る経費に対し、補助金を交付した。

交付先	補助金額
伊勢商工会議所 伊勢中小企業相談所	円 437,000
伊勢小俣町商工会	343,000
計(2件)	780,000

(3) 経営力向上支援事業利子補給補助金

平成29年4月1日以降に三重県中小企業融資制度の小規模事業資金及びみえ経営向上支援資金、日本政策金融公庫国民生活事業の小規模事業者経営改善資金、小規模事業者経営発達支援資金、中小企業経営力強化資金、生活衛生関係営業経営改善資金及び企業再建資金の融資を受けた場合、その融資に係る利子の一部を補助した。

融 資 名	補助件数	補助金額
小規模事業資金	件 22	円 841,392
小規模事業者経営改善資金	106	4,601,305
生活衛生関係営業経営改善資金	28	812,651
企業再建資金	1	33,630
計	157	6,288,978

(4) 三重県版経営向上計画実施支援補助金

三重県版経営向上計画のうちステップ2（経営課題の解決に向け具体的に取り組もうとする計画）又はステップ3（経営課題に対する解決策を本格的に実行しようとする計画）の認定を受けた事業所が、認定された計画に基づき実施する取り組みに係る経費の一部を補助した。なお、伊勢商工会議所中小企業相談所及び伊勢小俣町商工会が中小企業者への補助を行うため、市は伊勢商工会議所中小企業相談所及び伊勢小俣町商工会に対し、補助金を交付した。

交付先	事業者数	補助金額
伊勢商工会議所 伊勢中小企業相談所	社 31	円 5,988,000
伊勢小俣町商工会	8	1,197,000
計	39	7,185,000

(5) 中小企業信用保険法の規定による中小企業者の認定

中小企業者が三重県信用保証協会の信用保証を受けられる融資金額は、中小企業信用保険法によりその上限が定められているが、営業不振や自然災害の発生など緊急の事由により資

金需要が発生した際、認定要件に該当する場合に、一般の保証枠とは別枠の信用保証を受けることができる。

別枠の信用保証により、新たな融資が受けられるように、中小企業信用保険法第2条第5項に基づく認定を行った。

認 定 要 件	認定件数
第5項第5号：業況の悪化している業種（全国的）	1 件

3 創業・スタートアップ支援事業

創業や第二創業、事業所の移転を促進することで雇用の創出及び移住・定住の促進を図るため、新たに市内に事業所を設置し創業・移転を行う者に対し、創業等に必要となる経費の一部の補助、また、創業関連融資制度のうち対象となる融資を受けた場合にその融資に係る利子の一部の補助や信用保証協会の保証料の補助を行った。

また、関係各課及び関係団体と連携し、創業支援策のPRを通じてUIJターン希望者の移住促進に取り組んだ。

さらに、スタートアップ等と協働で当市における社会・地域・行政課題の解決に向けて取り組むことで、行政のみならず市内の既存事業者や団体等との協働によるオープンイノベーションに向けた機運を高めるとともに、市内発のスタートアップの創出・成長やスタートアップの市内への移転を促進する取組みの端緒とするため、実証実験に取り組んだ。

（1）創業・移転促進補助金

創業や事業所移転による産業の振興、移住・定住の促進を図るために、市内で創業や第二創業を行う者、県外から伊勢市に移住し創業を行う者の創業等に係る経費の一部を補助し、補助を受けた14事業者が年度内に創業等を行った。

なお、令和7年度に交付申請があったが、審査時期の都合等で年度内に事業完了しなかった4件については、次年度へ繰り越した。

区分	補助件数	補助金額	備 考
令和6年度申請・ 令和7年度創業	件 6	円 (注) 3,837,000	市内創業6件
令和7年度申請	8	5,094,000	市内創業6件、事業承継1件 移住創業1件
賃料分2年目 (前年度創業者)	5	394,000	賃料分が2か年度にわたる前年度創業者の賃料分のみ
以上 計	19	9,325,000	
次年度へ繰越	4	2,500,000	補助金額は交付決定額

(注) 繰越明許費(3,000,000円)を含む。

（2）創業・再挑戦アシスト資金保証料補給補助金

創業者のリスク軽減を図り、創業しやすい環境を整えることを目的として、三重県の融資

制度である創業・再挑戦アシスト資金の融資を平成 25 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までに受けた事業者（貸付実行時に市内に主たる事業所がある、又は設置しようとする事業者）に対し、保証料の補給補助を行った。

補助件数	補助金額
7 件	146,782 円

（３）創業・再挑戦アシスト資金利子補給補助金

创业者のリスク軽減を図り、創業しやすい環境を整えることを目的として、三重県の融資制度である創業・再挑戦アシスト資金の融資を平成29年4月1日以降に受けた事業者（申請時に市内に主たる事業所がある、又は設置しようとする事業者）に対し、その融資に係る利子の一部を補給補助した。

補助件数	補助金額
84 件	4,454,564 円

（４）スタートアップ協働推進事業

スタートアップ等が持つ新しい技術・ツール・アイデアを用いて、当市をフィールドに協働で実証実験に取り組むため、社会・地域・行政課題を庁内で募集した。募集した課題の選定支援及びブラッシュアップ、実証事業者の募集及びマッチング支援、実証実験のコーディネート、実証実験の検証及び成果報告会の開催に係る業務をプロポーザルにより選定した事業者に委託し、事業を実施した。

また、実証実験に協働で取り組んだ実証事業者に対して、協定を締結し、負担金を支出した。

- ・ 委託先 特定非営利活動法人コミュニティリンク
- ・ 委託料 5,555,000 円
- ・ 履行期間 令和 7 年 7 月 7 日～令和 8 年 3 月 25 日

ア 実証事業者の募集

庁内で募集した課題について、課題提案課にヒアリングを行った上でスタートアップ等とのマッチングを図る課題を 4 件選定し、インターネット上で実証事業者を募集した。

イ 実証実験の実施

選定した課題に対し、課題提案課が書類選考・面談を行い、協働で実証実験を行いたい事業者を選定した。課題提案課の選定結果をもとに、実証実験に取り組む課題を決定し、マッチングが成立した課題について、実証事業者との協議のもと実証実験の内容を決定し、協定を締結した上で実証実験を実施し、負担金を支出した。

- ・ 取組課題 『働きたいけど、働けない』をなくす挑戦。短時間雇用モデルを共に創りませんか？
- ・ 実証事業者 株式会社タイミー
- ・ 取組概要 様々な理由で働きづらさを抱えているものの「働きたい」という意欲を

持つ人が、短時間から働くことができる環境を整備するため、スポットワークという仕組みを用いて、伊勢市における新しい働き方・雇用のあり方を検証した。

- ・負担金支出額 500,000 円
- ・協定締結期間 令和7年11月14日～令和8年3月25日

ウ 成果報告会の開催

成果報告会を開催し、実証実験の成果等について市内中小企業者等へ周知した。

- ・タイトル 「働きたい」と地元企業をつなぐ伊勢市の挑戦
～スポットワークを通じた短時間雇用への第一歩～
- ・開催日 令和8年3月19日
- ・開催場所 伊勢商工会議所 4階 中ホール
- ・参加者数 31人

4 中小企業サポート事業

旧伊勢市産業支援センター事業のものづくり支援を継承するとともに、創業支援の強化を図るため、伊勢商工会議所に支援業務を委託し、伊勢商工会議所により伊勢市ビジネスサポートセンターの設置・運営を行った。

委託先	金額
伊勢商工会議所	28,550,000 円

(1) 創業支援

ア 創業支援員の配置

創業希望者や創業後間もない経営者、現在事業を営みながら第二創業や新規事業の立ち上げに取り組む経営者等を総合的にサポートするため、中小企業診断士の資格を持つ創業支援員を配置し、ワンストップによる創業支援を実施した。

相談件数	相談者数
190 件	80 人

イ 創業スクール等の開催

創業を予定している方や創業して間もない方を対象に、創業スクールを開催し、創業時に必要な基礎知識の習得や融資・補助金制度等の紹介、個々のビジネスプランの作成支援を行った。

また、起業家等の発掘・意識醸成・各種ノウハウの習得等を目的とし、幅広いテーマを取り上げてセミナーを開催した。

セミナー内容	開催回数	参加者数
創業スクール (全6日間)	回 1	人 14
創業セミナー等	10	101

ウ 創業後のフォローアップ

創業支援員による対面でのヒアリングのほか、電話・メールにより創業後の経営状況の把握を行い、課題のある創業者については相談者ニーズに合った補助金や融資制度等の情報を紹介・提案するとともに、融資斡旋や帳簿の付け方、補助金申請等の実務支援については伊勢会議所や伊勢小俣町商工会を紹介し、担当者への取次ぎを行った。

また、メールマガジン、DM、ホームページ等を活用し、セミナーや補助施策等の情報提供を行った。

(2) 経営支援

ア 企業支援員の配置

市内の製造業を中心とした中小企業者の活性化を図るため、企業支援員を配置し、中小企業者の経営状況や経営課題を共有し、関係団体と連携しながら解決に向けたサポートを実施した。

訪問件数	課題数	課題解決件数	経営支援提案件数
延べ 288 件 (118 社)	16 件	16 件	176 件

イ セミナーの開催

市内製造業者が抱える様々な課題（販売力向上・販路拡大、IT 化・DX 推進、人材育成、補助金活用等）解決への端緒となるセミナーを、ジェトロ三重や三重県よろず支援拠点などの他団体と連携して開催したほか、伊勢商工会議所とセミナーを共催した。

開催回数	延べ参加者数
15 回	312 人

(3) 雇用・就労支援

将来の地域雇用に繋げるため、大学生及び高校生並びに教職員を対象に市内中小企業者の見学会等を開催した。

また、市内中学生を対象に市内中小企業者の認知度向上や職業理解を深めるため、ビジネスパーク伊勢実行委員会に協力し、ビジネスパーク伊勢の運営を補助した。

内容	対象	回数	参加者数
雇用・就労支援事業実施に向けた懇談	市内高等学校の教職員	3 回	6 人
高等学校生への進路ガイダンス	市内高等学校の生徒	1	250
事業説明会	市内高等学校の生徒及び教職員	2	228
製造事業者見学	三重大学工学部の学生	3	211
ビジネスパーク運営補助	市内中学校の生徒	3	38

5 地域経済循環創造事業

地域金融機関等による融資などを生かして資金の一部を調達し、市内で地域密着性（地域資源の活用）、地域課題への対応（公共的な課題の解決）、新規性（新規事業）などの要件を備えた事業を立ち上げようとする民間事業者に対し、総務省の「ローカル 10,000 プロジェクト（地域経済循環創造事業交付金）」を活用して事業者の初期投資費用の一部を補助し、民間事業者、地域金

融機関及び国と一体となって将来にわたり富を生み出していく仕組み（地域経済循環）づくりに取り組んだ。

交 付 先	事 業 名	補助金額
株式会社海栄館	伊勢かぐらばマルシェ造成事業	円 24,350,000
有限会社二軒茶屋餅角屋本店	バイオ・フードテックを主とした、スタートアップ・起業支援と地域交流の拠点形成事業「未来を育む複合施設神社 Cheers(かみやしろチアーズ)」	18,044,000
計（2件）		42,394,000

○ 地域産品情報発信事業

（款）7. 商工費（項）1. 商工費（目）2. 商工業振興費

Ⅰ 地域産品販売促進事業

公益社団法人伊勢市観光協会等の関係団体と連携し、伊勢の食材や特産品などの認知度向上及び販路拡大を図るとともに、中小企業者が出展する商談会等の出展料の一部を補助した。

（1）物産展等

ア 期間限定店舗「ISE SHOP」の設置

首都圏及び関西万博で賑わう関西圏において、期間限定店舗「ISE SHOP」を設置し、地域産品の販売及びPRと観光誘客に向けたPRを行った。「ISE SHOP」の設置にあたっては、観光誘客課と連携しながら当日運営を行い、受託者、設置場所、公益社団法人伊勢市観光協会、伊勢志摩観光コンベンション機構等と連携し、ホームページやSNSで情報発信をすることで、集客に努めた。

・委託先 BrightRoad 合同会社

・委託料 3,757,050 円

・履行期間 令和7年6月13日（金）～令和8年2月26日（木）

区分	関西圏会場	首都圏会場
開催日	令和7年8月2日（土） ～8月3日（日）	令和8年1月16日（金） ～1月29日（木）
設置場所	KITTE 大阪 イベントスペース B （大阪府大阪市）	たまプラーザ テラス ポケットコート （神奈川県横浜市）
出品	39 業者、106 品目	50 業者、130 品目
取引数	288 件	2,466 件
売上	571,556 円（税抜）	4,479,751 円（税抜）
売上品数	511 点	5,646 点

イ 野口みずき杯 2025 中日三重お伊勢さんマラソン物産展

伊勢の食材や特産品などの地域資源を全国に発信し、認知度の向上及び販路拡大を図るため、「野口みずき杯 2025 中日三重お伊勢さんマラソン」の開催日に会場周辺で物産展を

開催した。

- ・開催日 令和7年12月6日（土）～12月7日（日）
- ・場 所 三重県営サンアリーナ周辺 伊勢フットボールヴィレッジ駐車場

ウ 大阪・関西万博 PR イベント

大阪・関西万博において、伊勢根付のワークショップなどの伝統工芸品 PR や、「食」をはじめとした伊勢の特産品 PR 及び観光誘客 PR を行った。

○「美し国みえ体験広場市町デー」 伝統工芸品の PR 及び観光誘客 PR

- ・開催日 令和7年6月19日（木）
- ・設置場所 大阪・関西万博 関西パビリオン三重県ブース（大阪府大阪市）

○「美し国彩り三重バザール」 特産品の PR 及び観光誘客 PR

- ・開催日 令和7年9月3日（水）
- ・設置場所 大阪・関西万博 関西パビリオン三重県ブース（大阪府大阪市）

（2）商談会等出展支援事業補助金

市内の中小企業者及び中小企業団体等の販路拡大及び新規需要開拓を促進するため、国内外における商談会や見本市等に出展する中小企業者に対し、補助金を交付した。

区 分	補助件数	補助金額
国内開催	件 10	円 1,318,475
国外開催	1	205,000
計	（11 件）	1,523,475

（3）独立行政法人日本貿易振興機構との連携

市内の中小企業者の海外における新規需要開拓や販路拡大の促進を図るため、独立行政法人日本貿易振興機構三重貿易情報センターに分担金を支出し、貿易相談等に対応するとともに、海外ビジネスを支援する環境を整えた。

貿易・投資相談	海外ビジネス支援
55 件	7 件

（4）伊勢市 E C ポータルサイトを通じた販路拡大

令和4年度に制作・公開した、市内事業者の消費者向け物販系 E C（オンラインショッピング）サイトを網羅的に集めて紹介するポータルサイト「I S E O N E（イセ・ワン）」の運用を通じ、インターネット上での地域産品販売促進に取り組んだ。

交通広告ビジュアルとして近畿日本鉄道伊勢市駅、宇治山田駅、五十鈴川駅の構内エコステーション上部広告枠に、「I S E O N E」の P R 広告を掲出するとともに、「I S E O N E」P R チラシを作成し、物産展等の会場において配布を行った。

令和7年度末の掲載事業者数は、令和6年度末時点から3事業者を追加し、134事業者となった。

	令和7年度計	月平均
ユニークユーザー数	6,627	552.25
セッション数	7,741	645.08
ページビュー数	10,814	901.17

また、運用は公益社団法人伊勢市観光協会の協力を得ながら行った。

- ・ レンタルサーバー年間使用料 50,160 円・・・①
- ・ CMS ソフトウェア年間使用料 49,500 円・・・②
- ・ 事務費（（①+②）×10%） 9,966 円

計（公益社団法人伊勢市観光協会への負担金） 109,626 円

○ 地域産業振興事業

（款）7. 商工費（項）1. 商工費（目）2. 商工業振興費

Ⅰ 外部活力導入事業

中心市街地・商店街等の賑わいの創出や回遊性の促進などの課題の解決、また、地域資源の活用・魅力発信、伝統工芸の技術継承に向けて、地域外の人材を誘致し地域活動に従事してもらうことで地域力の維持・強化に取り組み、地域の活性化を図るため、地域おこし協力隊員を委嘱した。

（1）中心市街地活性化部門

氏 名	着任日～任期満了日（退任日）	転入元	活動拠点
藤原 麻友	5. 7.20～ 8. 7.19	神奈川県茅ヶ崎市	JUING 合同会社
加藤 みなみ	7. 8. 1～ 7. 9.30	熊本県熊本市	ルトンスタジオ

（2）伊勢根付継承・啓発部門

氏 名	着任日～任期満了日（退任日）	転入元	活動拠点
田中 彩音	5.11.13～ 7.11.12	大阪府大阪市	伊勢根付彫刻館

（3）地域産業振興部門

氏 名	着任日～任期満了日（退任日）	転入元	活動拠点
藤田 敬子	6. 3.15～ 9. 3.14	大阪府大阪市	商工労政課
大橋 愛華	7. 4. 3～10. 4. 2	滋賀県近江八幡市	FOLK FOLK

○ 原油価格・物価高騰等緊急対策事業

（款）7. 商工費（項）1. 商工費（目）2. 商工業振興費

Ⅰ 伊勢のお店応援商品券事業

物価高騰の影響を受ける事業者を支援するため、プレミアム付き商品券の発行等を行う伊勢商工会議所に対し、補助金を交付した。

(1) 補助金額

交付先	補助金額	備考
伊勢商工会議所	172,516,000 円	プレミアム相当分 116,081,000 円 事務費 56,435,000 円

(2) 商品券の概要

券種	電子商品券	紙商品券
発行数	30,000 セット	50,000 セット
額面	6,500 円分 (共通券 2,000 円分、 中小規模店専用券 4,500 円分)	6,500 円分 (共通券 1,000 円券×2 枚、 中小規模店専用券 500 円券×9 枚)
販売額	5,000 円	5,000 円
プレミアム率	30%	30%
予約申込期間	7. 6. 2 ~ 7. 6. 30	7. 6. 2 ~ 7. 6. 30
販売期間	7. 7. 22 ~ 7. 8. 29	7. 7. 28 ~ 7. 8. 29
利用期間	7. 7. 28 ~ 7. 12. 26	7. 7. 28 ~ 7. 12. 26
利用方法 (支払単位)	スマートフォンでお店に置いて ある QR コードを読み取る (1 円単位)	紙の商品券を利用 (1,000 円または 500 円単位)
利用可能店舗	伊勢市内の小売業・飲食業・サービス業等の登録店舗 1,003 店舗	

(3) 販売結果

種類	発行総額	販売総額(A)	換金総額(B)	換金率 (B/A)
電子商品券	円 195,000,000	円 217,984,000	円 217,072,154	% 99.6
紙商品券	325,000,000	287,924,000	285,944,000	99.3
計	520,000,000	505,908,000	503,016,154	99.4

※金額にはプレミアム相当分を含む

○ 産業支援推進事業

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 3. 産業支援推進費

I ものづくり推進事業

(1) 新産業創出支援事業補助金

新たな製品開発や新産業の創出に取り組む中小製造業者又はその団体の育成を図るため、中小製造業者等が行う新製品・新技術の研究開発への支援を行った。

(2) 伝統工芸品等再生支援事業補助金

伝統工芸品産業の振興を図るため、製造業者等が行う後継者育成等の伝統工芸品産業の再生及び発展につながる事業に要する経費に対し、補助金を交付した。

交付先	事業内容	補助金額
株式会社宮忠	伊勢一刀彫技術継承	300,000 円

(3) 株式会社三重ティーエルオー及び公益財団法人三重県産業支援センターへの加入

中小企業者と大学との交流支援に取り組み、かつ、県内の大学等の研究成果や新技術を産業界に移転する活動を積極的に推進するなど、産学官連携の拠点と位置づけられている株式会社三重ティーエルオーに継続加入し、市内中小企業者が学術機関への技術相談や大学等の技術やノウハウの収集などが容易にできる環境を整えた。

また、企業経営に役立つ施策情報や研修会の案内などの各種情報を収集し、市内企業への支援に活用するため、公益財団法人三重県産業支援センター特別情報会員に継続加入した。

2 企業立地推進事業

(1) 企業訪問の実施

企業訪問や企業展へ参加することにより、立地に関する企業ニーズ、先進事例の情報把握を行った。

訪 問 地 域	訪問等件数	備 考
県外	11件	(関西圏10件、東海圏1件)
県内(市内除く)	10	—
市内	117	—
計	138	—

(2) 伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンによる企業誘致

連携市町 鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町

目 的 三重県内では、道路交通網・リニア新幹線の整備状況から北勢方面への企業立地が盛んである。伊勢志摩地域には大規模な工業団地が無く、市町が個別にPRするのではなく、広域で企業誘致活動をし、操業環境を周知していくことを目的とする。

取組内容 三重県が主催する企業セミナーへの共同参加

伊勢志摩地域の魅力や立地優遇制度のPRを行い、新たな企業の誘致や雇用の創出につなげるとともに、伊勢志摩の観光や物産の紹介をするなど、伊勢志摩を総合的にPRすることを目的にセミナーへ参加した。

開 催 日	内 容	場 所	参加人数
8. 2. 6	三重県企業ネット ワークセミナー	ホテルモントレグラスミア大阪 (大阪府大阪市浪速区)	人 73

(3) 不動産鑑定評価

企業立地奨励金(用地取得奨励金)算定のため、不動産鑑定評価を行った。 1件

(4) 企業立地マッチング促進事業

企業立地の促進及び産業用地等の有効活用を図るため、立地を希望する企業と産業用地の情報を持つ宅地建物取引業者をマッチングしている。

産業用地等を紹介する不動産情報提供者として登録のある宅地建物取引業者数 34社

(5) サン・サポート・スクエア伊勢の立地企業への支援

サン・サポート・スクエア伊勢に立地している企業の設備投資に伴う用地確保のため、外周道路に隣接する緑地の売却を行い、設備投資を支援した。

所在地	地目	面積	筆数	契約日	金額
伊勢市朝熊町字東谷 3477 番 52	雑種地	m ² 500.49	筆 1	8. 2. 13	円 2, 125, 581

3 エ場等誘致奨励事業

(1) 各種奨励制度の周知

市内への工場等の誘致・誘導について、企業訪問や日本立地センター（立地.net）ホームページ、伊勢市ホームページへの掲載により各種奨励制度の周知に努めた。

(2) 奨励措置事業者の指定

新たな設備投資を行う事業者について、3社の指定を行った。

(3) エ場等誘致奨励金の交付

本市における産業の振興及び雇用の促進を図り、もって地域の活性化に資するため、伊勢市工場等立地促進条例に基づき奨励金を交付した。

交付先	交付決定額	概要
村田機械株式会社	円 11,790,000	用地取得奨励金
株式会社鈴工	2,411,300	設備投資奨励金
伊勢金型工業株式会社	4,484,300	設備投資奨励金
A M I 株式会社	900,700	設備投資奨励金
有限会社北義工業所	852,200	設備投資奨励金
株式会社A－LINE	1,169,100	設備投資奨励金
株式会社岩戸の塩工房	237,100	設備投資奨励金
株式会社ふじよし	842,600	設備投資奨励金
村田機械株式会社	1,401,700	設備投資奨励金
株式会社N.P.W技研	600,000	雇用奨励金
株式会社ブランカ	600,000	雇用奨励金
計（11件）	25,289,000	—

4 中小企業等経営強化法に基づく先端設備等導入計画の認定

中小企業者が設備投資を通じて労働生産性の向上を図るため、国の指針や伊勢市が定める導入促進基本計画に沿った先端設備等導入計画を策定した場合に認定を行った。先端設備等導入計画の認定を受けた中小企業者は、税制支援や金融支援を受けることができる。

認定件数	根拠法令
6件	中小企業等経営強化法

○ 住宅対策事業

(款) 9. 土木費 (項) 6. 住宅費 (目) 2. 住宅対策費

Ⅰ 住宅リフォーム促進事業補助金

市内住宅関連産業の振興を促進し、地域経済の活性化を図ることを目的として、市内住宅関連業者による住宅のリフォームを行う者に対して補助を行った。

区 分	補助件数	補助金額
住宅・店舗 併 用	件 7	円 320,000
住 宅	197	9,572,000
計	204	9,892,000

農 林 水 産 課

○ 農業振興関係

Ⅰ 担い手支援事業 （款） 6. 農林水産業費（項） Ⅰ. 農業費（目） 3. 農業振興費

（Ⅰ）農業経営基盤強化促進事業

ア 経営改善・就農計画支援活動

「伊勢市農業経営基盤の強化の促進に関する基本構想」に基づき、優れた農業経営体を目指して、農業経営の改善を計画的に進めようとする者が作成した農業経営改善計画や、農業経営の発展目標を明らかにし、新たに農業経営を営もうとする者が作成した青年等就農計画を認定し、これらの計画の推進を支援した。

認定農業者 135 人（令和 8 年 3 月末現在、うち令和 7 年度新規認定 7 人）

※広域認定 24 人を含む

認定新規就農者 17 人（令和 8 年 3 月末現在、うち令和 7 年度新規認定 4 人）

イ 利用権設定等促進事業

効率的かつ安定的な農業経営を確立するため、関係機関・団体が農地の流動化に関する情報を共有し、連携して認定農業者等の育成すべき農業経営者への農地の利用集積を推進した。

・農地中間管理事業等による利用権設定面積

区 分	面 積
利用権設定(R8.3 末現在)	ha 986.53
R7.4～R8.3 実績	
設 定	146.57
中途解約	15.23
所有権移転	0.19

（Ⅱ）農業関係制度資金の活用等

ア 伊勢市特別融資制度推進会議

効率的かつ安定的な農業経営を目指す農業者が必要とする農業関係資金の適正かつ円滑な融資運営等を支援するため、関係機関による伊勢市特別融資制度推進会議において、貸付けの認定等を行った。

資 金 名	認定件数	借入総額
農業近代化資金	件 19	円 250,080,000
農業経営改善促進資金 (スーパー S 資金)	4	41,000,000
青年等就農資金	5	25,872,000
経営体育成強化資金	1	1,300,000
計	29	318,252,000

イ 利子補給補助事業

経営改善を目指す認定農業者を支援するため、農業近代化資金等の借入に際し、発生する利子の一部を助成した。

資 金 名		件 数	借入残高	利子補給額	備 考
農業近代化資金	上半期 (1～6月)	件 52	円 251,904,000	円 195,718	市単独事業
	下半期 (7～12月)	57	324,376,000	451,048	
農業経営基盤強化資金 (スーパーL資金)		14	269,680,000	972,979	//
計		—	—	1,619,745	

(3) 新規就農者関係事業

ア 農業次世代人材投資資金

新規就農するにあたって所得の確保が課題となっていることから、経営の不安定な就農初期の青年就農者に対する補助金を交付し、青年就農者の増加及び就農後の定着を図った。

事業費 3,600,000 円

交付額 3,600,000 円 (年間)

【内訳】 1,200,000 円 (1 年分) × 対象者 3 人分 (継続)

※令和 2 年度以前の採択者においては、経営開始 1 年目は 150 万円。経営開始 2 年目以降は (350 万円 - 前年の総所得) × 3 / 5 により得られた額。ただし、前年の総所得が 100 万円未満の場合は 150 万円。

令和 3 年度の採択者においては、経営開始 1 年目から 3 年目は 150 万円。経営開始 4 年目及び 5 年目は 120 万円。ただし前年の世帯の所得が 600 万円以上の場合は交付無し。

令和 4 年度以降は、国の事業改変により経営開始資金にて支援を行っている。

既存の採択者においては採択年度ごとの要綱に基づき補助金交付を実施。

イ 経営開始資金 (旧：農業次世代人材投資資金)

新規就農するにあたって所得の確保が課題となっていることから、経営の不安定な就農初期の青年就農者に対する補助金を交付し、青年就農者の増加及び就農後の定着を図った。

事業費 10,500,000 円

交付額 10,500,000 円 (年間)

【内訳】 1,500,000 円 (1 年分) × 対象者 7 人分 (新規 1 人、継続 6 人)

※経営開始直後の新規就農者 (原則 50 歳未満) に対し、最長 3 年間、1 人あたり 1 か月 12 万 5 千円 (定額) の年間最大 150 万円の給付金を給付する。前年の世帯の所得が 600 万円以上の場合は交付無し。

ウ 経営発展支援事業

次世代を担う農業者となることを志向する者に対して、就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入等の取組に係る費用に対して補助を行った。

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助額
認定新規就農者 (個人)	トマト	暖房設備 炭酸ガス発生機一式	円 3,530,000	円 2,646,499

(市補助額に対し国・県全額補助)

※当事業は、補助対象経費に対し県が支援する額の2倍までの額(1,000円未満切捨て)を国が支援する事業であり、令和7年度において三重県は補助対象経費に4分の1を乗じて得た額を支援したことから、補助金の額は上記のとおりとなる。

なお、補助対象経費の上限額は1,000万円であり、経営開始資金を受給している場合は上限額500万円となる。

エ 初期投資促進事業

次世代を担う農業者となることを志向する者に対して、就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入等の取組に係る費用に対して補助を行った。

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助額
認定新規就農者 (個人)	露地野菜	農機具格納庫	円 5,000,000	円 3,750,000

(市補助額に対し国・県全額補助)

※当事業は、補助対象経費に対し県が支援する額の2倍までの額(1,000円未満切捨て)を国が支援する事業であり、令和7年度において三重県は補助対象経費に4分の1を乗じて得た額を支援したことから、補助金の額は上記のとおりとなる。

なお、補助対象経費の上限額は1,000万円であり、経営開始資金を受給している場合は上限額500万円となる。

オ 世代交代円滑化事業

将来の農地の受け手となる新規就農者等の円滑な経営継承及び早期の経営発展に向けた取組を支援する。

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助額
認定新規就農者 (個人)	いちご	ハウス修繕 いちご高設栽培施設一式 炭酸ガス発生機一式	円 13,056,797	円 9,000,390

(市補助額に対し国・県全額補助)

※当事業は、補助対象経費に対し県が支援する額の2倍までの額(1,000円未満切捨て)を国が支援する事業であり、令和7年度において三重県は【①農業用機械・施設等の経営資源を交付対象者が継承・利用するために必要となる修繕、移設、撤去等の取組に要する経費】、【②法人化、専門家の活用等の農業経営の移譲に向けた取組に要する経費】については補助対象経費に6分の1を乗じて得た額を支援し、【③就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入等の取組に係る費用】については4分の1を乗じて得た額を支援したことから、補助金の額は上記のとおりとなる。なお、補助上限額は9,000,500円である。

カ 経営継承・発展等支援事業

将来にわたって地域の農地利用等を担う後継者を確保することを目的に、農業経営を継承し、新規に農業経営を始める者に対して、経営を拡大・発展していく中で必要な機械等の購入に対して支援を行うため、関係団体と調整を行った。

キ 伊勢市新規就農者支援事業補助金

本市の農業後継者及び担い手の確保・育成を図るため、認定新規就農者に対し、農業経営の開始に要する経費の一部を支援し、就農後の定着を図った。（市単独事業）

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助額
認定新規就農者 （個人）①	いちご	タンク、収穫ワゴン、軸補強資材	円 206,888	円 103,000
認定新規就農者 （個人）②	露地野菜	畝立て機拡張パーツ、防除機一式	560,890	280,000
認定新規就農者 （個人）③	いちご	井戸造設、ポンプ設置	735,350	311,000
認定新規就農者 （個人）④	いちご 梨	耕運機	198,000	99,000
認定新規就農者 （個人）⑤	いちご	水肥混入器、施肥機、給水ポンプ、その他資材	519,530	259,000
認定新規就農者 （個人）⑥	いちご	予冷库	1,080,000	540,000
認定新規就農者 （個人）⑦	いちご	換気扇、管理機	444,620	221,000

※補助金の額は、補助対象経費に2分の1を乗じて得た額（その額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額）とし、認定新規就農者として認定されている期間内において累計100万円を限度とする。

（４）その他

償還金 272,728 円

2 農業振興事業 （款） 6. 農林水産業費（項） 1. 農業費（目） 3. 農業振興費

（1）農業振興事業

農家のグループやＪＡ伊勢生産者部会、集落営農組織などが行う地域農業の振興に資する取組について、補助金を交付することで支援を行った。

ア 三重県伊勢志摩指導農業士会活動助成金

地域農業のリーダーである指導農業士会が行う農業後継者育成の活動及び地域農業の振興に資する活動に対する支援を行うため、関係機関と調整を行った。

イ 三重県伊勢志摩青年農業士連絡協議会活動助成金

地域農業の担い手である青年農業士連絡協議会が行う農業技術向上のための研修交流及び地域農業の振興に資する活動に対する支援を行うため、関係機関と調整を行った。

ウ 農業振興補助金

農業が持続的に営まれることで、農村環境が良好に保たれることから、農業者等の地域農業や農業振興に資する取組を支援し、担い手の育成確保や生産活動の強化を図った。

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助額
株式会社 A-ISO	主穀 野菜	圃場ごとの収量や農薬散布量データの収集体制を整備するため、収量センサー付きコンバインやドローンを導入した。	円 12,130,000	円 3,639,000
農事組合法人 鈴木農園	蓮台寺柿	より安全な農産物を栽培する中でさらなる減農薬化に取り組むため、蓮台寺柿の剪定枝を有機肥料化するために必要なチップパーを導入した。	1,210,000	363,000
株式会社 サンライズやまぶき	主穀	四郷地区周辺における数少ない担い手として、今後も隣接地域を含めて、効率よく耕作していく体制を整備するため、8条植え田植え機を導入した。	4,925,250	1,477,575

エ 特色ある農産物づくり支援事業補助金

有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対する支援や、地域農業の活性化を図るため、関係機関等と調整を行った。

オ 農業振興地域整備促進事業

農業振興地域整備計画に基づき地域内における計画的土地利用を進める中、農業諸情勢の変化に対応して、地域の土地利用の動向を踏まえ、他の土地利用との調整を図り、地域の特性及び課題に応えるべく、農用地区域の見直しを行った。（事業費 180,000 円・市単独事業）

農用地利用計画変更面積：令和7年度申出による変更予定分

利用計画変更分	件数	筆数	面積
農用地除外	件 1	筆 1	m ² 500.00
農用地編入	2	34	31,503.61
用途変更(農地から施設用地)	-	-	-
用途変更(施設用地から農地)	1	1	195.00

カ 農業振興地域整備計画策定業務

農業振興地域の整備に関する法律に基づき、本市における健全な農業の発展と地域資源

の総合的・効果的活用に資する農業振興地域整備計画を見直し策定するため、基礎調査の実施及び当該計画の策定について、専門的な知識及び技術を有する者に委託した。

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
伊 勢 市 地 内	伊勢市農業振興地域整備計画策定業務委託	基礎調査(R6年度) 計画策定(R7年度)	円 6,985,000 (R6 3,227,000) (R7 3,758,000)	6. 8. 13	8. 3. 19

キ 産地生産基盤パワーアップ事業

一定のまとまりをもった産地の形成のために農業者が機械や施設等の導入を行う場合に支援を行うため、関係団体と調整を行った。

(2) 遊休農地活用事業

農村環境や農業経営の現場で様々な問題を引き起こす遊休農地の解消を図るため、地域農業の担い手が遊休農地を活用して営農するにあたり、その再開に必要な草刈りや耕起など、遊休農地を営農可能な状態に回復するための支援を行った。

実施農業者	事 業 費	解消面積	補 助 額
伊勢ワイナリー(株)	円 454,164	a 13	円 130,000
ミニリバー(株)	622,600	39	311,300
(有)トラストファーム小俣	421,000	8	80,000
計	1,497,764	60	521,300

交付単価 補助対象経費の2分の1以内の額(上限:10,000円/a)(市単独事業)

年 度	遊休農地面積	農地全体に占める割合
5	ha 85.5	% 2.7
6	83.5	2.6
7	83.5	2.6

※遊休農地については、農業委員会事務局「○農業振興関係 4 農地利用状況調査」を参照

(3) 地産地消推進事業

ア いせっ子朝食メニューコンクールによる地産地消推進

伊勢市内の地場産物を活用した朝食のメニューを子どもたち自身が考え調理することで、自らの食生活に関心を持ち、食の大切さや地場産物とその生産者への理解を深めるため、学校教育課と共同で「いせっ子朝食メニューコンクール」を実施し、地産地消の啓発を行った。(事業費 42,000円・市単独事業)

イ 「スマホでパチリ伊勢の農フォトコンテスト」による地産地消推進

伊勢市内に在住または通学する小中学生の方を対象に、伊勢市で生産されている農産物や農業・農村にまつわる写真を募集することで、地域の農業への関心や地産地消への理解を深めた。また、応募された作品を産直施設に展示することで、小中学生とその保護者・

祖父母等の来場による新たな利用者の獲得を目指した。(事業費 96,912 円・市単独事業)

ウ その他

伊勢まつり出店料等 70,398 円

3 経営所得安定対策推進事業 (款) 6. 農林水産業費(項) 1. 農業費(目) 3. 農業振興費

(1) 経営所得安定対策推進事業

水田を活用して小麦・野菜等を作付している農業者に対して交付金を交付することにより、農業経営の安定や農地の有効利用を図った。

推進事業費 6,867,333 円(補助 4,846,000 円 市単独 2,021,333 円)

交付対象者 128 人

交 付 額 379,321,002 円(国から対象者へ直接交付)

(2) 農業者経営安定対策支援事業

自然災害等のリスクによる農業収入の減少に備えるため、農業経営収入保険への加入を促進し、農業経営の安定を図った。

交付対象者 21 件(個人 21 件)

交 付 額 948,571 円(市単独事業)

4 人・農地問題解決加速化支援事業

農業が厳しい状況に直面している中で、持続可能な力強い農業を実現するためには、基本となる人と農地の問題を一体的に解決していく必要がある。そこで、それぞれの集落・地域において話し合いを行い、集落・地域が抱える人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」となる「地域計画」の作成に関する支援を行った。

・地域計画作成地域 23 地区 【栗野町、磯町、植山町、津村町、中須町、西豊浜町上区、西豊浜町森区、西豊浜町小川区、村松町、勢田町、旭町、前山町、藤里町、宇治浦田、桜木町、岡本、上地町、小俣町西新村、小俣町宮前、小俣町明野、小俣町湯田、小俣町元町・相合・東新村、御園町上條】

・地域計画説明会等実施地区 4 地区 【楠部町、馬瀬町、有滝町、柏町】

5 農地中間管理事業 (款) 6. 農林水産業費(項) 1. 農業費(目) 3. 農業振興費

今後、農業者の減少により耕作者のいない農地の増加が見込まれる。そこで、「地域計画」と連携し、農地の中間受け皿となる農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化に対する調整を行った。

農地中間管理事業を活用した貸借面積：令和 7 年度 146.56ha、累計面積 587.96ha

6 競争力強化チャレンジ応援事業

(款) 6. 農林水産業費(項) 1. 農業費(目) 3. 農業振興費

市内産農産物及びその加工品について、競争力の強化を図り、生産量及び販路の拡大、加工品の開発等による高付加価値化、認知度の向上を推進する取組を行う団体等に対して、品質や収量の向上を図る産地強化計画を策定した品目について、伊勢市競争力強化チャレンジ応援事業補助

金にて支援を行った。

そのほか、市内産農産物の認知度の向上を図るため、PRイベントを実施し、地域農業の活性化を図った。

(1) 競争力強化チャレンジ応援事業補助金（市単独事業）

実施事業者	作物	事業内容	事業費	補助総額
JA伊勢バラ部会員 8名	バラ	出荷準備の機械化を行うことで、時間短縮を図り、当該短縮分を生産時間に充て、生産量を向上させるため、ラベラー一式を一律で導入した。	円 1,355,200	円 672,000

(2) 伊勢市ワインぶどう生産拡大支援補助金

ワインぶどうの栽培面積を増やすことで地ワインの製造の推進を図り、今後の農地の新たな利用展開や雇用の創出による農業の担い手確保、観光面における伊勢の新たな特産品の創出に繋げることを目的として、ワインぶどうの苗木の新規の植付けを行うものに対して支援を行った。（市単独事業）

実施事業者	定植面積	定植本数	事業費	補助額
株式会社ケアプロ フェッショナル	a 10	本 230	円 385,828	円 150,000

(3) 蓮台寺柿の高付加価値化

次世代に蓮台寺柿を残すため、蓮台寺柿の販売単価や栽培農家の収入額の向上に取り組むため、持続可能な生産体制の構築を目指す蓮台寺柿産地協議会において、蓮台寺柿の高付加価値化等に取り組んだ。（事業費 4,538,942 円・市単独事業）

また、蓮台寺柿の高付加価値化の取り組みとして、地域活性化起業人に同行いただき、東海農政局（名古屋市）への蓮台寺柿のGI申請に係る事前相談及び蓮台寺柿の高付加価値化の実証販売（東京・神戸市）を実施した。（費用弁償 70,984 円（職員課より執行委任。全額が特別地方交付税措置となるため、市の負担はなし。））

(4) その他

消耗品等 38,396 円

7 水田等環境改善事業

農業委員会だより（第39号）に記事を掲載し、市内農家に対して農業の生産性の向上及び所得の安定並びに農作物被害の軽減のため、農地におけるスクミリングガイ（ジャンボタニシ）の被害軽減対策についての啓発活動を行った。

8 農業体験学習事業（款）6. 農林水産業費（項）1. 農業費（目）3. 農業振興費

食育推進の一環として農業体験を含む食育の機会を設け、食の大切さ、食を育む産業である農業の大切さなどについて考えてもらう機会を提供している。（事業費 825,346 円・市単独事業）

実 施 日	対 象	内 容
【稲作】		
7. 4. 22	二見浦小 5 年生 (54 人)	田植え：小俣町
〃	早修小 5 年生 (8 人)	〃
〃	宮山小 5 年生 (47 人)	〃
〃	厚生小 5 年生 (61 人)	〃
7. 5. 13	明倫小 5 年生 (39 人)	田植え：村松町
〃	修道小 5 年生 (66 人)	〃
〃	中島小 5 年生 (37 人)	〃
〃	有緝小 5 年生 (80 人)	〃
【横輪いも】		
7. 5. 16	上野小 4 年生 (19 人)	横輪いも (定植：横輪町)
【稲作】		
7. 9. 9	明倫小 5 年生 (39 人)	稲刈り：村松町
〃	修道小 5 年生 (67 人)	〃
〃	中島小 5 年生 (37 人)	〃
〃	有緝小 5 年生 (80 人)	〃
【蓮台寺柿】		
7. 10. 30	佐八小 2 年生 (10 人)	蓮台寺柿 (収穫等：勢田町)
【横輪いも】		
7. 11. 21	上野小 4 年生 (19 人)	横輪いも (収穫等：横輪町)
【青ねぎ】		
7. 12. 10	豊浜東小 4, 5 年生 (14 人)	青ねぎ (収穫等：小俣町、出荷施設見学：植山町)
【花き】		
8. 1. 28	東大淀小 4 年生 (10 人)	花き (バラ園見学、フラワーアレンジメント：東大淀町)

9 外部人材の活用 (款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 4. 人材育成推進費

第一次産業の担い手減少に伴い農山漁村の活力が低下する中、地域の 10～20 代の若者の力を活かした第一次産業の魅力発信や農山漁村の活性化に向けて、総務省の地域活性化起業人制度(企業人材派遣制度)を活用して知識・ノウハウを有する人材 1 人の派遣を受け入れた。

(1) 地域活性化起業人制度による派遣に関する協定

- ・協定締結先：一般社団法人未来の大人応援プロジェクト
- ・協定期間：令和 7 年 5 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
- ・支出額：5,400,000 円(職員課より執行委任。全額が特別地方交付税措置となるため、市の負担はなし。)

(2) 外部人材の主な取組

- ・地域の若者の力を活かした第一次産業の魅力発信や地域の活性化への取り組み。
- ・地域の若者と地域住民が連携したフィールドワークによる、地域の特産物である横輪いもを活かした取り組みを行った。

○ 施設管理関係

Ⅰ 農道及び農業用排水施設等維持補修経費

(款) 6. 農林水産業費 (項) Ⅰ. 農業費 (目) 4. 農業用施設管理費

農道及び農業用排水路の機能を保持するため、修繕工事、草刈業務委託、重機借上・原材料支給等を行い、農村環境・農業基盤の整備を図った。

(1) 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
中 須 町 地 内 ほ か	菱川ほか除草業務委託	除草 7,200 m ²	円 950,400	7. 9.25	7.12. 5

【50 万以下の業務委託】 藤里町地内 藤里町地内農道清掃業務委託ほか 17 件 2,915,550 円

(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
小 俣 町 明 野 地 内	小俣町明野地内排水路修繕工事	張コンクリート 80 m ²	円 1,323,300	7. 9.29	7.12. 5
下 野 町 地 内	下野町地内集水桝修繕工事	集水桝 1 基	1,155,000	7.11.18	8. 1.30
黒 瀬 町 地 内	黒瀬町地内排水路修繕工事	水路目地 220 m	726,000	8. 2. 2	8. 2.20
東 大 淀 町 地 内	東大淀町地内排水路修繕工事	張コンクリート 32 m ²	792,000	8. 2.24	8. 3.19
二 見 町 西 地 内	二見町西地内農道転落防止柵修繕工事	転落防止柵 20 m	638,000	8. 3. 2	8. 3.24
西 豊 浜 町 地 内	西豊浜町地内排水路修繕 (その2)工事	張コンクリート 36 m ²	693,000	8. 3. 9	8. 3.25
計	6 件	—	5,327,300	—	—

【50 万以下の工事】 朝熊町地内 三津ポンプ場鉄板蓋修繕工事ほか 11 件 1,933,800 円

(3) 重機借上・原材料支給

	施行場所	金 額
重 機 借 上	東豊浜町地内ほか 9 件	円 4,187,040
原 材 料 支 給	黒瀬町地内ほか 2 件	476,174
計	—	4,663,214

(4) その他

松下ふるさと農道電気使用料 76,589 円

2 産直施設維持管理経費

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 4. 農業用施設管理費

(1) 伊勢市都市農山村交流促進施設管理

ア 施設管理

横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市都市農山村交流促進施設 郷の恵「風輪」
- ・指定管理者 横輪町活性化委員会
- ・令和7年度指定管理委託期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日
- ・指定管理委託料 3,102,000 円
- ・施設利用状況

期 間	開館日数	来客人数
7. 4. 1 ～ 7. 4.30	日 25	人 2,001
7. 5. 1 ～ 7. 5.31	23	305
7. 6. 1 ～ 7. 6.30	21	287
7. 7. 1 ～ 7. 7.31	23	399
7. 8. 1 ～ 7. 8.31	24	677
7. 9. 1 ～ 7. 9.30	22	420
7.10. 1 ～ 7.10.31	22	425
7.11. 1 ～ 7.11.30	24	605
7.12. 1 ～ 7.12.31	20	531
8. 1. 1 ～ 8. 1.31	20	400
8. 2. 1 ～ 8. 2.28	21	364
8. 3. 1 ～ 8. 3.31	22	770
計	267	7,184

イ 委託関係

【50 万以下の業務委託】 横輪町地内 宮山管理業務委託 310,000 円

ウ その他

建物総合損害共済保険料等 39,343 円

(2) 二見しょうぶロマンの森維持管理

ア 施設管理

伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、農村地域資源を活用し地域の活性化を図った。

- ・施設名 伊勢市二見地域農産物等活用型総合交流促進施設
「民話の駅蘇民」「しょうぶ園」

- ・ 指定管理者 二見しょうぶロマンの森維持管理組合
- ・ 令和7年度指定管理委託期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日
- ・ 指定管理委託料 5,628,700 円
- ・ 施設利用状況

期 間	開館日数	来客人数
7. 4. 1 ～ 7. 4.30	日 30	人 10,430
7. 5. 1 ～ 7. 5.31	31	10,627
7. 6. 1 ～ 7. 6.30	30	10,690
7. 7. 1 ～ 7. 7.31	31	10,216
7. 8. 1 ～ 7. 8.31	29	10,193
7. 9. 1 ～ 7. 9.30	30	9,592
7.10. 1 ～ 7.10.31	31	9,140
7.11. 1 ～ 7.11.30	30	9,606
7.12. 1 ～ 7.12.31	31	12,089
8. 1. 1 ～ 8. 1.31	26	8,248
8. 2. 1 ～ 8. 2.28	28	9,980
8. 3. 1 ～ 8. 3.31	31	10,966
計	358	121,777

イ 負担金

キャッシュレス決済利用を促すことにより、利用者へのサービス向上及び感染症等の拡大防止に努めた。(決済手数料：1,242,113 円)

ウ 委託関係

【50 万以下の業務委託】 二見町松下地内 民話の駅蘇民漏水調査業務委託 178,200 円

エ 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二見町松下地内	(注) 民話の駅蘇民受電設備改修工事	受電設備改修一式	円 1,650,000	7.11.11	8. 1. 9

(注) 営繕課施行

【50 万以下の工事】 二見町松下地内 民話の駅蘇民換気扇取替工事ほか2件 801,900 円

オ その他

建物総合損害共済保険料、土地賃借料等 1,061,926 円

(3) サンファームおばた維持管理

ア 施設管理

経営構造対策事業によって整備した産直施設である伊勢市農産物直売所の管理運営を行い、農家の市場出荷以外の販路を確保し、農業者の経営安定、担い手の育成等を図った。

- ・ 施設名 伊勢市農産物直売所「サンファームおばた」

- ・施設の概要 小俣町湯田 55 番地 鉄骨造折板葺平屋建 (429.12 m²)
- ・貸付先 有限会社 サンファームおばた
- ・貸付期間 令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日
- ・施設利用状況

期 間	開館日数	来客人数
7. 4. 1 ～ 7. 4.30	日 29	人 6,974
7. 5. 1 ～ 7. 5.31	30	7,012
7. 6. 1 ～ 7. 6.30	24	5,403
7. 7. 1 ～ 7. 7.31	30	7,371
7. 8. 1 ～ 7. 8.31	30	9,328
7. 9. 1 ～ 7. 9.30	29	8,161
7.10. 1 ～ 7.10.31	30	6,988
7.11. 1 ～ 7.11.30	29	7,303
7.12. 1 ～ 7.12.31	29	8,921
8. 1. 1 ～ 8. 1.31	25	6,638
8. 2. 1 ～ 8. 2.28	27	7,217
8. 3. 1 ～ 8. 3.31	30	7,261
計	342	88,577

イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
小俣町湯田 地 内	(注) サンファームおばた空調機取 替工事	空調機取替一式	円 5,819,000	7. 4.30	7. 6.27

(注) 営繕課施行

【50 万以下の工事】 小俣町湯田地内 サンファームおばた空調設備修繕工事 99,000 円

ウ その他

建物総合損害共済保険料、土地賃借料等 1,060,669 円

3 多面的機能支払交付金事業

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 4. 農業用施設管理費

農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつあり、地域の共同活動の困難化に伴い、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理に対する担い手農家の負担の増加も懸念されるところである。当事業により地域においての農業用排水路等の保全管理と施設の長寿命化の活動を行うことにより農村環境の保全、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されることを目的とする。

当事業については、平成 26 年度は事業の移行期間、平成 27 年度に本格実施となり法律に基づき実施する事業となった。(農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律)

(1) 農地維持支払、資源向上支払（地域資源の質的向上を図る共同活動）

事業実施期間は5年間とされており、従前の農地・水保全管理支払交付金事業から継続し実施する組織については、それぞれ制度実施年度から5か年が活動期間となる。

負担率 国1/2 県1/4 市1/4

交付金単価（国、県、市の合計）（事業を開始した年度によりそれぞれ変動）

◆農地維持支払 田：3,000 円/10a 畑：2,000 円/10a

◆資源向上支払（地域資源の質的向上を図る共同活動）

○従前の農地・水保全管理支払交付金事業5年間未実施組織及び資源向上支払（施設の長寿命化）未実施組織 田：2,400 円/10a 畑：1,440 円/10a

○従前の農地・水保全管理支払交付金事業5年間実施組織又は資源向上支払（施設の長寿命化）実施組織 田：1,800 円/10a 畑：1,080 円/10a

(2) 資源向上支払（施設の長寿命化のための活動）

事業実施期間は5年間とされており、5か年が活動期間となる。

また、平成28年度からの法改正により、交付上限金額は対象農用地の面積に単価を乗じた金額又は、保全管理する区域内に存在する農業集落数に200万円を乗じた金額のいずれか小さい額と定められた。

負担率 国1/2 県1/4 市1/4

交付金単価（国、県、市の合計） 田：4,400 円/10a 畑：2,000 円/10a

(3) 令和7年度活動組織交付額一覧表

◆農地維持支払・資源向上支払（地域資源の質的向上を図る共同活動）

今年度の交付額は要望額に対し100.0%の割当となった。

活動組織名	認定の位置	農用地 面積	交付額	うち 市負担額	活動開始 年度
一色資源等保全協議会	一色町地域	a 4,182	円 2,006,328	円 501,582	R4
森区ふるさと保全活動隊	西豊浜町森区地域	7,892	3,788,160	947,040	R4
伊勢北部地区自然を守る会	北部地域	6,234	2,637,312	659,328	R4
有滝の自然を守る会	有滝町地域	2,235	1,051,128	262,782	R4
村松ふるさと保全会	村松町地域	15,563	7,381,488	1,845,372	R4
柏町みのり会	柏町地域	5,501	2,626,548	656,637	R4
上地・水・土・里グループ	上地町地域	15,808	7,508,376	1,877,094	R4
こころ豊かなあわの村	栗野町地域	5,417	2,543,056	635,764	R4
鹿海町農地・水保全活動組織	鹿海町地域	5,687	2,729,760	682,440	R4
上野町日向野里	上野町地域	5,181	2,481,892	620,473	R4
弁天様協議会	円座町地域	3,675	1,764,000	441,000	R4
津村町地区農地・水・環境保全会	津村町地域	2,396	794,124	198,531	R4

		㎡	円	円	
楠部地区農地・水・環境保全会	楠部町地域	3,010	1,441,016	360,254	R4
佐八地区農地・水・環境保全会	佐八町地域	3,332	1,598,500	399,625	R4
中須町農地・水保全会	中須町地域	2,846	1,324,800	331,200	R4
まぜ創生グループ	馬瀬町地域	2,542	1,164,604	291,151	R4
通町ふるさと再生活動隊	通町地域	1,141	547,680	136,920	R4
水土里プロジェクトおばた	小俣町地域	27,708	12,376,200	3,094,050	R4
磯地区地域資源保全会	磯町地域	3,901	1,509,732	377,433	R4
荘田園環境を守る会	二見町荘地域	1,365	629,400	157,350	R4
上区資源環境保全プロジェクト	西豊浜町上区地域	11,972	5,657,120	1,414,280	R5
朝熊町地域資源保全会	朝熊町地域	1,534	733,568	183,392	R5
東大淀を守る会	東大淀町地域	17,743	8,491,528	2,122,882	R6
黒瀬町農地保全会	黒瀬町地域	1,311	629,280	157,320	R6
西環境保全会	二見町西地域	4,366	1,925,400	481,350	R7
小木町農地管理会	小木町地域	2,676	1,275,708	318,927	R7
御菌町高向農地環境保全会	御菌町高向地域	5,615	2,005,824	501,456	R3
三津稲穂の会	二見町三津地域	1,270	677,372	169,343	R5
小計	28 組織	172,103	79,299,904	19,824,976	—
※清し有田佐田沖環境保全会	小俣町地域	216	97,144	24,286	R4
計	29 組織	172,319	79,397,048	19,849,262	—

※伊勢市の面積を含む玉城町組織(平成 30 年度より市町を跨ぎ活動する組織については当該市町分の交付となった。)

◆資源向上支払(施設の長寿命化のための活動)

今年度の交付額は要望額に対し約 88%の割当となった。

活動組織名	認定の位置	農用地 面積	交付額	うち 市負担額	活動開始 年度
		㎡	円	円	
西環境保全会	二見町西地域	4,366	1,491,011	372,753	R7
荘田園環境を守る会	二見町荘地域	1,365	502,963	125,741	R4
一色資源等保全協議会	一色町地域	4,182	1,628,068	407,017	R4
伊勢北部地区自然を守る会	北部地域	6,234	1,989,221	497,305	R4
柏町みのり会	柏町地域	5,501	1,770,565	442,641	R4
上地・水・土・里グループ	上地町地域	15,808	6,048,867	1,512,217	R4
こころ豊かなあわの村	栗野町地域	5,417	1,770,565	442,641	R4
上野町日向野里	上野町地域	5,181	1,770,565	442,641	R4
弁天様協議会	円座町地域	3,675	1,432,338	358,085	R4
津村町地区農地・水・環境保全会	津村町地域	2,396	765,406	191,352	R4
楠部地区農地・水・環境保全会	楠部町地域	3,010	1,169,280	292,320	R4
佐八地区農地・水・環境保全会	佐八町地域	3,332	1,298,001	324,500	R4

中須町農地・水保全会	中須町地域	α	円	円	
		2,846	1,059,352	264,838	R4
まぜ創生グループ	馬瀬町地域	2,542	923,637	230,909	R4
水土里プロジェクトおばた	小俣町地域	27,708	9,632,554	2,408,139	R4
上区資源環境保全プロジェクト	西豊浜町上区地域	11,972	1,770,565	442,641	R5
東大淀を守る会	東大淀町地域	17,743	1,770,565	442,641	R6
黒瀬町農地保全会	黒瀬町地域	1,311	513,772	128,443	R6
小木町農地管理会	小木町地域	2,676	1,033,353	258,338	R7
御園町高向農地環境保全会	御園町地域	5,615	1,336,680	334,170	R5
計	20 組織	132,880	39,677,328	9,919,332	—

(4) その他

会計年度任用職員報酬等 4,071,095 円

○ 畜産関係

Ⅰ 畜産振興一般経費 (款) 6. 農林水産業費 (項) Ⅰ. 農業費 (目) 5. 畜産業費

(1) 松阪食肉公社運営事業

食肉の安全を確保するため、伊勢市を含む主要株主により三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に係る経費を負担し、施設の安定稼働の確保を図った。

事業主体 三重県松阪食肉公社

負担金 5,381,000 円

(2) 松阪食肉公社燃油等価格高騰対策

昨今の燃油価格高騰による公社の経営悪化の状況を踏まえ、公社と関係市町の緊急協議により、通常の負担金とは別に臨時の追加支援を行い、施設の安定稼働の確保を図った。

事業主体 三重県松阪食肉公社

負担金 84,000 円

(3) 松阪肉牛共進会

松阪肉牛の質および生産技術の向上、肉牛肥育農家の振興のため、伊勢市を含む松阪牛生産区域内の市町等により松阪肉牛共進会へ負担金を支出し、消費の宣伝と流通の合理化を図った。

負担金 10,000 円

(4) 伊勢市内松阪牛頭数 (令和8年3月末現在)

令和7年度登録頭数 884 頭

○ 農業基盤整備関係

Ⅰ 土地改良事業補助金 (款) 6. 農林水産業費 (項) Ⅰ. 農業費 (目) 6. 農地費

農業経営の安定に資するため、土地改良区等が実施した事業に対して市の基準による補助金を

交付し、事業の円滑な推進及び農業農村の基盤整備を進めた。

補助金 支出先	施行 年度	事業名	事業概要	事業費	市補助額
宮川用水 土地改良区	R7	土地改良施設維持管 理適正化事業	小川第5揚水機場整備 補修	円 4,000,000	円 800,000
〃	〃	〃	植山揚水機場整備補修	8,000,000	1,600,000
〃	〃	〃	村松A揚水機場整備補 修	5,000,000	1,000,000
〃	〃	農業水路等長寿命化 ・防災減災事業	斎宮調整池地区法面整 備補修	11,000,000	965,456
〃	〃	〃	富岡地区揚水機場整備 補修	2,917,000	214,485
豊 浜 土地改良区	〃	西曾排水機場除塵ス クリーン取替工事	除塵スクリーン取替	473,539	189,415
〃	〃	西曾排水機場吐出水 槽ゲート整備補修工 事	吐出水槽ゲート開閉機 電動機交換	2,035,000	814,000
五十鈴川用水 土地改良区	〃	木出頭首工維持管理 事業(鹿海町・一色町 地内)	電気料金ほか	370,645	370,645
計		8件	—	33,796,184	5,954,001

2 県営事業負担金 (款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 6. 農地費

農業経営の安定に資するため、パイプライン整備等の国営関連県営事業に対して負担金を支出し、事業の円滑な推進及び農業農村の基盤整備を進めた。

事業名・地区名(事業期間)	工事概要	事業費	市負担額
(注1) 令和6年度 高度水利機能確保基盤整備事業 宮川左岸地区(H26年度～R8年度) ・負担区分国55%、県27.5% 【幹線】市町10% (うち伊勢市4.887%) 宮川用水土地改良区7.5% 【支線】市町3.307% (うち伊勢市1.740%) 宮川左岸第二土地改良区14.193%	農業用排水施設 7,050m 測量設計 一式 換地 一式	千円 1,145,600	円 17,488,500 【負担額計】 24,559,530 [令和6年度] 7,071,030 [令和7年度] 17,488,500

(注 2) 令和 7 年度 高度水利機能確保基盤整備事業 宮川左岸地区(H26年度～R8年度) ・負担区分国55%、県27.5% 【幹線】市町10% (うち伊勢市4.887%) 宮川用水土地改良区7.5% 【支線】市町3.307% (うち伊勢市1.740%) 宮川左岸第二土地改良区 14.193%	農業用排水施設 9,916m 区画整理 3.3ha 測量設計 一式 用地補償 一式 換地 一式 埋蔵文化財調査 一式	千円 597,500	円 3,388,050 【負担額計】 14,109,960 [令和 7 年度] 3,388,050 [令和 8 年度] 10,721,910
(注 2) 令和 7 年度 基幹農業水利施設ストックマネジメント事業 宮川用水1期地区(R7年度～R12年度) ・負担区分 国55%、県30%、伊勢市12% 宮川用水土地改良区 3%	測量設計 一式	88,000	491,400 【負担額計】 10,560,000 [令和 7 年度] 491,400 [令和 8 年度] 10,068,600
(注 3) 令和 7 年度 基幹農業水利施設ストックマネジメント事業 宮川用水2期地区(R7年度～R11年度) ・負担区分 国55%、県30%、伊勢市12% 宮川用水土地改良区 3%	測量設計 一式	82,000	0 【負担額計】 9,840,000 [令和 7 年度] 0 [令和 8 年度] 9,840,000
令和 7 年度 水利施設管理強化事業	農業水利施設に対して 支援を行い、農業水利施設の有する多面的機能の適正な発揮を図る。	12,576	2,975,543
計	5 件	1,925,676	24,343,493

※合計は、各行の最上段を合算

(注 1) 令和 6 年度から一部繰越

(注 2) 令和 8 年度へ一部繰越

(注 3) 令和 8 年度へ繰越

3 農道整備事業 (款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 6. 農地費

農業用道路において、老朽化した舗装の改良を行うことにより、農業用車両が安全に通行できるよう適切な維持管理を行った。

(1) 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
御 蔭 町 小 林 地 内	御蔭町小林地内農道舗装工事	舗装 209 m ²	円 2,338,600	7.10.28	7.12.23
東 豊 浜 町 地 内	東豊浜町地内農道舗装工事	舗装 251 m ²	4,503,400	7.12.23	8. 2.25
鹿 海 町 地 内	鹿海町地内農道舗装工事	舗装 335 m ²	5,023,700	7.12.23	8. 3.12
通 町 地 内	通町地内農道舗装工事	舗装 97 m ²	924,000	7.12.25	8. 2.27
計	4 件	—	12,789,700	—	—

4 農業用排水路整備事業 (款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 6. 農地費

農業用排水路において、老朽化した排水路を改良することにより、排水機能の回復と環境整備を行った。また、県が実施する菱川改修工事に伴う測量設計等業務委託に対して負担金を支出した。

(1) 委託関係【補助関係事業】

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
円 座 町 地 内	円座町地内揚水機取替設計業務委託	設計業務一式	円 5,491,200	7. 6. 3	7.11.28

(2) 工事関係【市単独事業】

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
鹿 海 町 地 内	鹿海町地内排水路整備工事	法覆工 60 m ²	円 3,881,900	7. 9.24	8. 2.20
西 豊 浜 町 地 内	西豊浜町地内排水路管理用道路舗装工事	舗装 370 m ²	4,440,700	7.10.28	8. 2. 4
有 滝 町 地 内	有滝町地内排水路整備工事	張コンクリート 42m	1,727,000	7.12. 4	8. 1.15
二 見 町 溝 口 地 内	二見町溝口地内排水路整備工事	排水路整備 27m	4,128,300	7.12.23	8. 2.26
津 村 町 地 内	津村町地内排水路整備工事	排水路整備 22m 防草シート 103 m ²	3,074,500	7.12.23	8. 3.18
有 滝 町 地 内	有滝町地内排水路改修工事	張コンクリート 54m	1,562,000	8. 2.10	8. 3. 6
小 俣 町 新 村 地 内	小俣町新村地内排水路整備工事	張コンクリート 91m	2,323,200	8. 2.24	8. 3.23
計	7 件	—	21,137,600	—	—

(3) 工事関係【補助関係事業】

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
鹿 海 町 地 内	(注1)(注2) 鹿海町地内排水路整備工事	排水路整備 32m	円 16,113,900 【契約額】 16,113,900 [令和6年度] 0 [令和7年度] 16,113,900	7. 9.24	8. 2.20
御 蔭 町 小 林 地 内	(注1)(注2) 御蔭町小林地内排水路整備 工事	排水路整備 84m 舗装 210 m ²	24,968,900 【契約額】 24,968,900 [令和6年度] 0 [令和7年度] 24,968,900	7. 9.24	8. 2.20
計	2 件	—	41,082,800	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

(注1) 令和6年度から繰越

(注2) 令和6年度と合併施行

(2) 負担金

施行場所	事業内容	事 業 費	市 負 担 額
中 須 町 地 内 ほ か	(注1) 菱川改修工事に伴う測量設計等業務委託	千円 17,000	円 1,458,600 【負担額計】 2,550,000 [令和7年度] 1,458,600 [令和8年度] 1,091,400

(注1) 令和8年度へ一部繰越

5 農地中間管理機構関連農地整備事業

(款) 6. 農林水産業費(項) 1. 農業費(目) 6. 農地費

農地中間管理機構を通じた貸借関係に基づき、農地のほ場整備を行うため、村松地区の実施計画書作成を行った。また、県が実施する磯地区の測量設計等業務委託に対して負担金を支出した。

(1) 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
村 松 町 地 内	村松地区農地整備に伴う事業実施計画策定業務委託	実施計画策定 一式	円 33,605,000	7. 5.19	8. 3.19

(2) 負担金

施行場所	事業内容	事業費	市負担額
磯地町内	(注1) 磯地区ほ場整備に伴う測量設計等業務委託	千円 50,000	円 3,000,000 【負担額計】 5,000,000 [令和6年度] 2,000,000 [令和7年度] 3,000,000
〃	(注2) 〃	242,831	13,000,000 【負担額計】 24,283,104 [令和7年度] 13,000,000 [令和8年度] 11,283,104
計	2件	292,831	16,000,000

※合計は、各行の最上段を合算

(注1) 令和6年度から一部繰越

(注2) 令和8年度へ一部繰越

6 農村地域防災減災事業 (款) 6. 農林水産業費(項) 1. 農業費(目) 6. 農地費

農業用ため池等農業用施設について、災害に強い農村づくりを進めるため、県が実施する笹原池の堤体改修工事、西池の堤体改修工事及び測量設計等業務委託に対して負担金を支出した。

(1) 負担金

施行場所	事業内容	事業費	市負担額
佐八町内 地	(注1) 笹原池改修工事及び測量設計等業務委託	千円 70,000	円 5,400,000 【負担額計】 7,000,000 [令和6年度] 1,600,000 [令和7年度] 5,400,000
黒瀬町内 地	(注1) 西池改修工事及び測量設計等業務委託	26,000	926,000 【負担額計】 2,600,000 [令和6年度] 1,674,000 [令和7年度] 926,000

佐 八 町 地 内	笹原池改修工事	千円 59,000	円 5,900,000
黒 瀬 町 地 内	(注2) 西池改修工事	25,000	0 【負担額計】 2,500,000 [令和7年度] 0 [令和8年度] 2,500,000
計	4件	180,000	12,226,000

※合計は、各行の最上段を合算

(注1) 令和6年度から一部繰越

(注2) 令和8年度へ繰越

(3) その他

水位計システム利用料(笹原池、西池、東池) 54,540円

7 農業用施設整備事業 (款) 6. 農林水産業費(項) 1. 農業費(目) 6. 農地費

「ごみ処理施設整備に関する協定書」に基づき、老朽化した農業用排水路を改良することにより、建設予定地周辺の生活環境の保全及び増進を図った。

(1) 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
西 豊 浜 町 地 内	西豊浜町地内排水路整備工事	張コンクリート 1,762 m ² 舗装 68 m ²	円 34,239,700	7.10.1	8.3.6

(2) 負担金

施行場所	事業内容	事 業 費	市 負 担 額
西 豊 浜 町 地 内	(注1) 西豊浜町農業用用水管更新工事に伴う測量設計等業務委託	千円 110,000	円 0 【負担額計】 19,250,000 [令和7年度] 0 [令和8年度] 19,250,000

(注1) 令和8年度へ繰越

○ 土地改良施設維持管理事業

1 排水機等補修事業 (款) 6. 農林水産業費(項) 1. 農業費(目) 7. 湛水防除事業費

排水機等施設の機能を維持するため、土地改良施設維持管理適正化事業を活用し農業用排水機

等の維持補修を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
一 色 町 地 内 ほ か	(注) 一色排水機場ほか実施設計書作成業務委託	設計業務一式	円 3,300,000	7. 5.16	7. 6.13

(注) 維持課施行

(2) 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二 見 町 今 一 色 地 内	(注) 今一色排水機場補修工事	エンジンの整備補修 1基	円 11,000,000	7. 8.12	8. 3. 6
一 色 町 地 内	(注) 一色排水機場補修工事	//	19,849,500	7. 8.26	8. 3. 6
柏 町 地 内	(注) 柏排水機場補修工事	水中ポンプ更新 1基	10,535,800	7.11.11	8. 3.27
//	柏排水機場補修(その2)工事	舗装 193 m ²	1,769,900	8. 3.17	8. 3.30
計	4 件	—	43,155,200	—	—

(注) 維持課施行

(3) その他

土地改良施設維持管理適正化事業特別賦課金 6,981,732 円

2 樋門維持管理経費 (款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 7. 湛水防除事業費

流域への湛水による被害を未然に防止するため、地元自治会等へ管理を委託することにより、農業用樋門の機能を保持し、安全管理を図った。

(1) 三重県県土整備部所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委 託 先	管理委託料
東 伊 阿 良	有 滝 町	有 滝 町 会	円 25,000
土 路 西 条 4 号	西 豊 浜 町	上 区 自 治 会	20,000
土 路 西 条 5 号	磯 町	磯 町 自 治 会	20,000
矢 田 川	楠 部 町	楠 部 町 自 治 会	27,000
津 村	津 村 町	津 村 町 自 治 会	20,000
宮 沼	//	//	27,000
名 古 新 田	二 見 町 三 津	三 津 区	27,000
計	7樋門	—	166,000

(2) 市所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委 託 先	管理委託料
満 城	磯 町	磯 町 自 治 会	円 27,000
磯	//	//	18,000
相 合 端	//	//	20,000
堀 の 内	西 豊 浜 町	森 区 自 治 会	20,000
中 島	//	小 川 区 農 事 部	20,000
郷 垣 外	//	//	20,000
中 坪 井	//	//	20,000
下 坪 井	東 豊 浜 町	東 豊 浜 町 西 条 自 治 会	20,000
浜	//	//	20,000
西 浦	//	//	20,000
一 本 松	檜 原 町	檜 原 町 会 自 治 会	20,000
枯 木 州	//	//	20,000
地 蔵 池	村 松 町	有 滝 町 会	20,000
南 挟 間	//	//	18,000
西 の 小 端 第 一	//	//	18,000
西 曾	西 豊 浜 町	豊 浜 土 地 改 良 区	20,000
旧 汐 田	東 大 淀 町	東 大 淀 町 会	27,000
明 野	//	//	20,000
東 勘 坊	柏 町	柏 町 会	23,000
大 切 戸	一 色 町	一 色 町 自 治 会	27,000
戸 部 神	//	//	20,000
中 渠	楠 部 町	楠 部 町 自 治 会	27,000
小 畑	中 村 町	中 村 土 地 改 良 区	20,000
八 郎 兵 衛	鹿 海 町	鹿 海 町 自 治 会	27,000
西 新 田	//	//	20,000
西 沖	朝 熊 町	朝 熊 町 自 治 会	20,000
保 田	//	//	20,000
立 岩	//	//	18,000
貝 楠 部	//	//	18,000
亀 ケ 森	//	//	18,000
橘 第 二	//	//	18,000
橘	//	//	20,000

浜 田	朝 熊 町	朝 熊 町 自 治 会	円 20,000
子 良 江 古	//	//	20,000
雨 沢 川	上 野 町	上 野 町 自 治 会	20,000
西	二 見 町 西	西 区	20,000
計	36樋門	—	744,000

(3) 樋門小修繕等

ア 委託関係

【50万以下の業務委託】 西豊浜町地内 中島樋門清掃業務委託 38,500 円

イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
二見町西 地 内	西樋門開閉装置更新 工事	開閉装置更新 基	円 2,563,000	7. 5.20	7. 9.16

【50万以下の工事】 東豊浜町地内 下坪井樋門階段設置工事ほか3件 764,500 円

(4) その他

樋門等管理人傷害保険料等 204,501 円

3 排水機維持管理経費 (款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 7. 湛水防除事業費

農村集落地域の雨水排水対策にも寄与する公共性の高い農業用排水機場について、維持管理を土地改良区等へ委託又は補助することにより、農地及び集落の排水体制を維持した。

(1) 市所管排水機場操作業務委託

排水機場名	所在地	委 託 先	管理委託料
野口排水機場	東大淀町	東大淀土地改良区	円 50,000

(2) 土地改良区所管排水機場維持管理費補助

排水機場名	交 付 先	市補助額
村 松 排 水 機 場	村 松 土 地 改 良 区	円 1,000,228
有 滝 第 二 排 水 機 場	伊 勢 北 部 土 地 改 良 区	819,289
明 野 排 水 ポ ン プ	東 大 淀 土 地 改 良 区	76,726
豊 浜 第 二 排 水 機 場	豊 浜 土 地 改 良 区	42,687
社 護 神 排 水 機 場	有 滝 土 地 改 良 区	394,739
計	5 件	2,333,669

(3) 土地改良施設の維持管理

ア 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
有 滝 町 地 内	(注1)(注2) 有滝排水機場直流電 源装置設計業務委託	設計業務一式	円 3,850,000 【契約額】 3,850,000 [令和6年度] 0 [令和7年度] 3,850,000	7. 2. 12	7. 5. 27
小 俣 町 元 町 地 内	(注1)(注2) 汁谷川排水機場冷却 水ポンプ設計業務委 託	〃	4,875,200 【契約額】 4,875,200 [令和6年度] 0 [令和7年度] 4,875,200	7. 2. 12	7. 5. 27
鹿 海 町 地内ほか	(注3) 農業用排水機場ほか 管理技術指導及び緊 急対応業務委託	技術指導 一式 月次点検 一式 応急整備、簡易 整備 一式 年次点検 一式 緊急対応 一式	1,079,079 【契約額】 21,450,000 [湛水防除] 15,964,502 [排水路維持費] 4,406,419 [農林水産課] 1,079,079	7. 4. 1	8. 3. 31
竹ヶ鼻町 地内ほか	船倉排水機場ほか塗 膜 PCB 含有調査業務 委託	PCB 含有調査 33 検体	2,323,200	7. 5. 28	7. 9. 9
二見町西 地 内	(注2) 荘西排水機場直流電 源装置設計業務委託	設計業務一式	2,976,600	7. 8. 12	7. 12. 9
計	5 件	—	15,104,079	—	—

※合計は、各行の最上段を合算

(注1) 令和6年度から繰越

(注2) 維持課施行

(注3) 維持課へ執行委任

【50 万以下の業務委託】

小俣町元町地内 汁谷川排水機場低圧進相コンデンサ PCB 含有調査業務委託 55,000 円

イ 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
鹿 海 町 地 内	鹿海排水機場仮設ポンプ設置工事	仮設ポンプ設置 8 台	円 3,795,000	7. 4.24	7. 7.14
〃	(注 1) 鹿海排水機場ポンプ補修工事	ポンプ補修一式	12,100,000	7. 5. 1	7. 7.14
東豊浜町 地 内	東豊浜排水機場管理人室改修工事	管理人室改修一式	1,364,000	7. 9.22	7.12.19
通 町 地 内	新田排水機場倒木撤去工事	倒木撤去一式	816,200	7.10. 2	7.11.20
有 滝 町 地 内	(注 1) 有滝排水機場直流電源装置更新工事	直流電源装置更新一面	18,150,000	7.10.14	8. 3. 6
小 俣 町 元 町 地 内	(注 1) 汁谷川排水機場冷却水ポンプ設置工事	冷却水ポンプ設置一式	7,147,800	7.11.11	8. 3.23
竹ヶ鼻町 地 内	(注 1) 船倉排水機場仮設燃料タンク設置工事	仮設燃料タンク設置 2 台	1,375,000	7.11.17	8. 2.13
〃	(注 2) 船倉排水機場管理人室改修工事	建築改修一式	3,159,200	7.12. 2	8. 2.27
計	8 件	—	47,907,200	—	—

(注 1) 維持課施行

(注 2) 営繕課施行

(4) その他

野口排水機場電気使用料等 592,455 円

4 排水機維持管理経費（機能更新）

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 7. 湛水防除事業費

農業用排水機場について長寿命化計画に基づき補修・更新を実施した。また排水機場の遠隔操作化を行うため、事業計画書の作成を実施した。

(1) 委託関係

国庫補助事業の事業採択を受けるため、事業計画書の作成等を行った。

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
東豊浜町 地 内	東豊浜排水機場事業計画書修正業務委託	事業計画書修正一式	円 4,400,000	7. 4.18	7.12. 1
楠 部 町 地 内	楠部排水機場ほか事業計画書修正業務委託	〃	11,000,000	7. 4.18	7.12. 1
計	2 件	—	15,400,000	—	—

(2) 負担金

三重県が実施する市管理の農業用排水機場の補修更新工事等に対して負担金を支出した。

施行場所	事業内容	事業費 千円	市負担額 円
東大淀町 地内	(注1) 東大淀排水機場補修更新工事及び除塵機補修更新工事	100,000	【負担額計】 10,800,000 [令和6年度] 12,000,000 [令和7年度] 1,200,000 10,800,000
楠部町 地内	(注1) 楠部・楠部第二排水機場補修更新工事及び更新その2工事	320,000	【負担額計】 33,571,500 [令和6年度] 48,000,000 [令和7年度] 14,428,500 33,571,500
二見町 三津地内	(注1) 三津排水機場補修更新工事	28,900	【負担額計】 1,668,000 [令和6年度] 3,468,000 [令和7年度] 1,800,000 1,668,000
東大淀町 地内	東大淀排水機場補修更新工事及び除塵機補修更新工事	23,200	2,784,000
鹿海町 地内	(注2) 鹿海排水機場実施設計業務委託	17,000	【負担額計】 540,000 [令和7年度] 2,040,000 [令和8年度] 540,000 1,500,000
楠部町 地内ほか	(注2) 楠部・楠部第二排水機場補修更新工事及び更新その2工事並びに更新その3工事 下野排水機場実施設計業務委託	367,000	【負担額計】 20,250,000 [令和7年度] 55,050,000 [令和8年度] 20,250,000 34,800,000
二見町 三津地内	(注2) 三津排水機場補修更新工事及び更新その2工事	326,800	【負担額計】 3,216,000 [令和7年度] 39,216,000 [令和8年度] 3,216,000 36,000,000
計	7件	1,182,900	72,829,500

※合計は、各行の最上段を合算

(注1) 令和6年度から一部繰越

(注2) 令和8年度へ一部繰越

○ 林業関係

1 林道修繕経費 (款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 2. 林業振興費

大雨等による林道等の破損について、必要な工事を施し、林道等の機能回復を図った。

(1) 工事関係

【50 万以下の工事】 二俣町地内ほか 三郷山看板設置工事 187,000 円

2 環境保全林管理経費 (款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 2. 林業振興費

市民の憩いの場である三郷山・音無山・絆の森・市所有の横輪環境保全林において、清掃、草刈り、枝打ち等を実施し、保全林の環境維持等に努めた。

(1) 委託関係

施行場所	業 務 名	業務概要	金 額	着 手	完 了
二見町茶屋地内ほか	音無山管理業務委託	管理業務一式	円 616,000	7. 4. 1	8. 3.24
横 輪 町 地 内	横輪環境保全林管理業務委託	//	940,000	7. 4. 1	8. 3.27
浦 口 町 地 内 ほか	三郷山草刈等(その1)業務委託	草刈りほか 2.51ha	2,202,200	7. 7. 9	7. 9. 4
二見町茶屋地内ほか	音無山施設管理業務委託	草刈りほか 2.14ha	807,400	7. 7. 9	7. 9.29
浦 口 町 地 内 ほか	三郷山草刈等(その2)業務委託	草刈り 2.00ha	693,000	7.11. 7	8. 1.29
横 輪 町 地 内	横輪環境保全林間伐業務委託	間伐 7,000 m ²	715,000	8. 1.22	8. 3.26
計	6 件	—	5,973,600	—	—

【50 万以下の業務委託】

岩淵1丁目地内 市町版三重県森林資源情報管理システム運用業務委託ほか6件 1,507,100 円

(2) 工事関係

【50 万以下の工事】 二見町茶屋地内 音無山コンクリート擁壁設置工事ほか2件 218,900 円

(3) その他

三郷山・音無山電気使用料、汲取り手数料等 160,901 円

3 獣害防止事業 (款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 2. 林業振興費

(1) 伊勢市鳥獣被害防止対策協議会

有害鳥獣による農作物等の被害防止を目的に設立した伊勢市鳥獣被害防止対策協議会において、関係機関と一体となって各種事業に取り組んだ。

事 業 名	金 額	概 要
協議会一般事業	円 1,332,195	獣害防止物品、獣害柵修繕、振込手数料 等
鳥獣被害防止総合対策推進交付事業	5,044,696	捕獲パトロールシステム、GPS首輪発信機、サル対策専門家報償費 等

鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業	円 2,591,000	有害獣捕獲の報償金（猟友会）
ニホンザル等対策支援事業	1,220,000	動物駆逐用煙火、専用ホルダー
地域捕獲力強化促進事業	289,356	捕獲檻用エサ、大型捕獲檻用通信費
わな猟免許取得費等補助事業	24,000	わな猟免許取得費等補助金 2 件
計	10,501,247	—

事業費の財源内訳 県（国）：5,066,065 円、市：5,435,182 円、計 10,501,247 円

（２）委託関係

有害動物（シカ・イノシシ・サル・アライグマ・ハクビシン）による農作物の被害軽減のため、伊勢地区猟友会へ有害動物の捕獲及びアライグマ処分の業務委託を行った。

委 託 名	委 託 先	金 額	着 手	完 了
獣害防止事業業務委託	伊勢地区猟友会	(注 1) 円 6,069,000	7. 4. 1	8. 3. 31

（注 1）上記事業の捕獲報酬については、県（国）補助として伊勢市鳥獣被害防止対策協議会から 2,591,000 円、単価上乗せ分等として市負担により 2,893,000 円を支払い。

アライグマ処分については、市負担により 585,000 円を支払い。（15,000 円×39 回）

（３）その他

- ・ 獣害パトロール員（2 人）賃金等 6,584,390 円
- ・ 獣害パトロール携帯電話料金 57,134 円
- ・ けものおと導入業務委託 550,000 円
- ・ けものおと利用料 198,000 円
- ・ 有害鳥獣防護柵設置費補助金（3 件） 211,000 円

4 鳥獣保護法関連事業

（１）有害鳥獣捕獲許可

農作物等に被害を与える有害鳥獣を駆除するため、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の規定に基づき、捕獲許可事務を行った。

許可件数	延べ人員	総捕獲数
件 147	人 431	シカ 386、イノシシ 242、サル 18、アライグマ 59、ハクビシン 44、 アナグマ 13、イタチ 8、タヌキ 5、カラス 2【合計 777】

5 森林整備事業（款）6. 農林水産業費（項）2. 林業費（目）2. 林業振興費

みえ森と緑の県民税市町交付金を活用した施策として、暮らしに身近な森林づくり・森を育む人づくりとして年次計画のもとに森林整備を図った。

（１）委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
二見町西地内ほか	松くい虫防除(地上散布)業務委託	地上散布 6.65ha	円 845,900	7. 5. 28	7. 7. 31
二見町今一色地内ほか	二見町今一色地内ほか保安林下刈等業務委託	下刈 19,800 m ² 遊歩道除草 3,200 m ²	960,300	7. 10. 8	7. 12. 19

二見町光の街 地内	二見町光の街地内法面樹 木伐採業務委託	樹木伐採 490 m ²	円 2,156,000	7.11. 5	8. 1.15
村松町 地内ほか	松くい虫防除(樹幹注入) 業務委託	樹幹注入 517 本	5,610,000	7.12.17	8. 2.10
二俣町 地内	三郷山危険木剪定業務委 託	樹木枝払い 105m	1,272,700	7.12.17	8. 2.17
東大淀町 地内ほか	松くい虫防除(伐倒破砕) 業務委託	伐倒破砕 15 m ²	558,800	7.12.18	8. 2.26
計	6 件	—	11,403,700	—	—

【50 万以下の業務委託】 二見町茶屋地内 音無山危険木伐採業務委託ほか 5 件 924,000 円

6 森林経営管理事業 (款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 2. 林業振興費

森林所有者の経営意欲の低下や所有者不明の森林の増加等が懸念される中で、森林資源の適切な管理を推進するための調査及び管理界確認等を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
朝熊町 地内	森林調査(管理界測量)業 務委託	管理界測量 52ha	円 8,694,400	7. 8. 6	8. 3.19
〃	森林調査(管理界確認)業 務委託	管理界確認 135ha	5,376,800	7.10. 8	8. 3.19
一字田町 地内ほか	森林経営管理意向調査業 務委託	意向調査 374ha	18,850,700	7.10.22	8. 3.19
計	3 件	—	32,921,900	—	—

(2) その他

上下水道会計繰出金 10,846,000 円

○ 水産業一般事業

Ⅰ 二見健康管理増進センター維持管理経費

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 1. 水産総務費

(1) 施設管理

漁村環境整備事業で整備した伊勢市二見健康管理増進センターについて、指定管理者制度による施設の管理運営を行い、地域住民の生活及び健康管理の向上と明るく豊かな地域づくりの増進を図った。また、施設類型別計画に基づき、地元自治会へ譲渡等を行うための協議を行った結果、用途を廃止し、自治会へ貸付を行うことで地元自治会との協議が整ったため、令和 8 年 2 月 1 日付で管理主体変更を行った。

- ・施設名 伊勢市二見健康管理増進センター
- ・指定管理者 二見町松江区
- ・令和 7 年度指定管理委託期間 令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 1 月 31 日
- ・指定管理委託料 184,140 円
- ・建物総合損害共済保険料 32,326 円

○ 水産振興関係

Ⅰ 漁業の実態

市内には海面の漁協として、伊勢市から明和町を範囲とする伊勢湾漁業協同組合があり、内水面には宮川漁業協同組合がある。海面では、主に採貝漁業、のり養殖業、小型機船底びき網漁業等が営まれ、内水面では、主にあゆ漁が行われている。

漁業就業者数は、年々減少傾向であり高齢化も進行している。また、地球温暖化等漁場環境も変化していることから、漁業生産量も多くの種類で減少している。このため、稚貝や稚魚の放流により水産資源の維持・増殖を図るとともに、陸上養殖等新たな漁業形態にも取り組んでいる。

(1) 組合員数

区分	漁 協 名		令和 7 年度			令和 6 年度		
			正組合員	准組合員	計	正組合員	准組合員	計
海 面	伊勢湾漁業協同組合 (伊勢市管内分)	東大淀	人 0	人 22	人 22	人 0	人 24	人 24
		村 松	4	19	23	5	20	25
		有 滝	2	27	29	2	30	32
		東豊浜	4	58	62	4	60	64
		大 湊	0	10	10	0	11	11
		一 色	1	19	20	0	20	20
		神 社	0	4	4	0	5	5
		今一色	31	17	48	31	18	49
		江	3	4	7	3	4	7
		松 下	4	33	37	4	33	37
		合 計	49	213	262	49	225	274
内水面	宮 川 漁 協		498	430	928	520	468	988
	内伊勢市管内		124	70	194	130	72	202

(各年度伊勢湾漁業協同組合は 3 月 31 日、宮川漁業協同組合は 12 月 31 日現在)

(2) 漁業生産状況

種 類	令和 7 年度	令和 6 年度
魚 類 等 (うち ヒ ラ メ)	kg 19,408 (800)	kg 19,731 (455)
水産動物類 (うち クルマエビ)	6,862 (672)	4,075 (103)
貝 類 (うち ア サ リ) (うち ハ マ グ リ)	116,199 (13,745) (32,201)	152,516 (14,258) (27,207)
あ お の り	10,306	5,607
く ろ の り	千枚 10,723	千枚 15,158

(各年度 3 月 31 日現在)

(3) 漁船数

地 区 名	令和 7 年度					令和 6 年度				
	3 t 未満	3 t 以上 5 t 未満	5 t 以上 10 t 未満	10 t 以上	計	3 t 未満	3 t 以上 5 t 未満	5 t 以上 10 t 未満	10 t 以上	計
東大淀	隻 9	隻 0	隻 0	隻 0	隻 9	隻 9	隻 0	隻 0	隻 0	隻 9
村 松	11	3	1	0	15	12	3	1	0	16
有 滝	9	0	4	0	13	9	0	3	1	13
東豊浜	22	1	1	0	24	25	1	1	0	27
大 湊	6	0	0	0	6	9	0	0	0	9
一 色	1	0	0	0	1	1	1	0	0	2
神 社	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1
今一色	82	8	1	1	92	91	7	1	1	100
江	10	0	0	0	10	10	0	0	0	10
松 下	18	0	0	0	18	15	0	0	0	15
計	169	12	7	1	189	182	12	6	2	202

(各年度 3 月 31 日現在)

(4) 漁業就業者の年齢構成

区 分	令和 7 年度			令和 6 年度		
	男	女	計	男	女	計
20 歳 未 満	人 0	人 0	人 0	人 0	人 0	人 0
20～30 歳未満	0	1	1	0	0	0
30～40 歳未満	3	0	3	3	0	3
40～50 歳未満	3	0	3	3	0	3
50～60 歳未満	5	6	11	7	4	11
60～70 歳未満	17	12	29	16	14	30
70 歳 以 上	47	23	70	43	22	65
計	75	42	117	72	40	112
平均年齢	70.8	69.3	70.3	69.8	69.8	69.8

(各年度 3 月 31 日現在)

2 水産振興補助金 (款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 2. 水産振興費

事 業 名	事業主体	事 業 量	事 業 費	市補助額	成 果
水 産 資 源 増 殖 事 業	伊勢湾漁業 協 同 組 合	二見町今一色地先にハマグリ種苗を 放流 ハマグリ 2.2 t	円 2,527,990	円 1,263,995	ハマグリ資源の増 大と漁家経営の安 定、二枚貝の水質浄 化作用による環境 保全に寄与した。

水産資源増殖事業	伊勢湾漁業協同組合	海域用肥料「MOFU-DX」を二見町今一色地先に投入設置 MOFU-DX 300個	円 553,355	円 276,677	黒のりの「色落ち」に一定の効果が確認されている肥料を緊急投下することで「色落ち」の加速を減退させることに寄与した。
施設整備関係事業	//	漁協が管理する松下漁港内通路の修繕	880,000	176,000	通路の修繕により漁業者の安全性を確保した。
水産資源増殖事業	宮川漁業協同組合	(放流事業) アユ 1,100 kg ウナギ 20 kg アマゴ 40 kg 各種苗	4,731,980	412,176	宮川流域のアユ・ウナギ・アマゴの資源増大と生産の向上に寄与した。
計	4件	—	8,693,325	2,128,848	—

○ 漁港管理関係

Ⅰ 漁港の施設

漁 港 名	種 別	外郭施設		係留施設	
		7年度末 現在	6年度末 現在	7年度末 現在	6年度末 現在
(注) 大 淀	第 1 種	m 342	m 342	m 424	m 424
村 松	//	1,403	1,403	494	494
江	//	1,564	1,564	261	261
松 下	//	503	503	101	101
豊 北	第 2 種	5,868	5,868	1,825	1,825
計	—	9,680	9,680	3,105	3,105

(注) 大淀漁港の管理者は明和町(昭和53年3月31日締結の協定により、伊勢市は大堀川右岸の事業に要する費用を負担し、両漁業者が共通して利用する水域施設の事業については、協議により負担割合を決定することとなっている。)

表中の施設延長は、伊勢市負担分。

2 漁港区域内樋門管理経費 (款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 3. 漁港管理費

(1) 樋門

ア 三重県県土整備部所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委 託 先	管理委託料
江 川	有 滝 町	有 滝 町 会	円 34,000

社護神	有 滝 町	有 滝 町 会	円 18,000
計	2樋門	—	52,000

イ 市所管樋門操作業務委託

樋門名	所在地	委 託 先	管理委託料
西条第一	東 豊 浜 町	東豊浜町西条自治会	円 27,000
浦ノ山	//	土 路 区 町 会	18,000
墓ノ浦	//	//	27,000
里 浦	//	//	18,000
イナ川	有 滝 町	有 滝 町 会	18,000
亀 池	村 松 町	村 松 町 会	28,000
計	6樋門	—	136,000

(2) 陸こう門

異常気象等による洪水防止のため、漁港区域及び海岸保全区域内に存在する陸こうの維持管理及び操作を次のとおり委託した。

ア 市所管陸こう門操作業務委託

陸こう名	所在地	委 託 先	委託料
西条第1～6陸こう門	東 豊 浜 町	東豊浜町西条自治会	円 34,020
村松第1～8陸こう門	村 松 町	村 松 町 会	45,360
有滝第1～6陸こう門	有 滝 町	有 滝 町 会	34,020
土路第1～5陸こう門	東 豊 浜 町	土 路 区 町 会	28,350
東大淀第1・2陸こう門	東 大 淀 町	東 大 淀 町 会	11,340
計	5件	—	153,090

(3) 工事関係

施行場所	工 事 名	工事概要	金 額	着 工	完 工
村 松 町 地 内	村松漁港第2陸開門 改良工事	水門設備修繕工1基	円 3,977,600	7.10.7	8.2.3

(4) その他

樋門等管理人傷害保険料 129,540 円

3 漁港・海岸維持管理経費 (款) 6. 農林水産業費(項) 3. 水産業費(目) 3. 漁港管理費
伊勢市が管理する施設の修繕及び点検業務を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委 託 名	委託概要	金 額	着 手	完 了
有 滝 町 地 内	豊北漁港海岸ほか海岸 保全施設長寿命化 計画作成業務委託	長寿命化計画作成 一式	円 20,452,300	7.7.15	8.3.19

【50 万以下の業務委託】

有滝町地内ほか 伊勢市漁港海岸環境整備業務委託ほか 2 件 442,200 円

(2) 工事関係

【50 万以下の工事】 東豊浜町地内 豊北漁港土路第Ⅰ堤防修繕工事ほか 4 件 763,400 円

(3) その他

電気使用料等 38,312 円

○ 他課関係依頼

他課から依頼があった次の業務について、その設計及び監督を行った。

所 属	施行場所	工 事 名	工事概要	金 額
観 光 振 興 課	中 島 2 丁 目 地 内 ほ か	第 73 回伊勢神宮奉納全国 花火大会施設工事	準備一式 放揚施設一式 栈敷一式 会場周辺安全施設一式 場内施設一式 付帯一式	円 39,377,800
//	//	第 73 回伊勢神宮奉納全国 花火大会電気工事	電灯設備一式 仮設工事一式	9,579,900
二見総合支所 生活福祉課	二 見 町 茶 屋 地 内	賓日館南庭枯れ松伐採業務 委託	樹木伐採 1 本	1,708,300
計	3 件	—	—	50,666,000

【50 万以下の業務委託】

御園町上條地内 御園 B & G 海洋センター植木剪定業務委託 404,800 円

観 光 振 興 課

○ 観光客受入基盤整備事業（款） 8.観光費（項） 1.観光費（目） 2.観光振興費

Ⅰ 観光人材育成事業

（１）案内ガイド連携事業

案内人の質の向上、情報共有及び一体感の醸成を目的とした市内観光案内ガイド団体の連絡協議会「伊勢たびナビの会」に参画し、事務局を担った。

令和７年度は、会員の情報交換・共有のための会議を５回実施（参加人数延べ３１人）し、各ガイド団体が共同で利用できる手旗を作成した。また、手話研修会を開催し２２人が参加した。

（２）観光振興研修事業

観光関連事業者を対象に、観光情勢に応じたテーマの研修会を開催した。協働の形を変えながら平成２７年度から伊勢市、（公社）伊勢市観光協会、伊勢商工会議所の三者協働事業として実施している。

内容	開催日	開催場所	参加人数
A I 基礎セミナー 講師：株式会社デアライブ 川口政樹	7.12.11	伊勢商工会議所	人 45

2 案内所管理運営経費

（１）観光案内所及び伊勢市駅手荷物預かり所等の運営

伊勢市駅観光案内所、二見浦観光案内所、リモート観光案内端末及び伊勢市駅手荷物預かり所の運営管理業務を（公社）伊勢市観光協会に委託して実施した。また、令和４年度からリモート案内システムを導入し、伊勢市駅観光案内所を拠点とした宇治山田駅、二見浦、宇治浦田、外宮前、五十鈴川駅の５か所で、英語対応を含めた観光案内をリモートで実施している。

委託期間：令和７年４月１日～令和８年３月３１日

委託金額：25,543,508 円

<観光施設における心のバリアフリー認定状況>

認定施設：伊勢市駅観光案内所、二見浦観光案内所、伊勢市駅手荷物預かり所

※「観光施設における心のバリアフリー認定制度」とは、バリアフリー対応や情報発信に積極的に取り組む施設を観光庁が認定する制度。観光案内所では、J N T O（日本政府観光局）から外国人観光案内所の認定を受けている施設等であることが要件。

<外国人観光案内所認定状況>

カテゴリー２：伊勢市駅観光案内所、カテゴリーⅠ：二見浦観光案内所

※ J N T O 認定の外国人対応可能な観光案内所。カテゴリー 2 は英語対応可能なスタッフが常駐し、広域の案内を提供できること。カテゴリー 1 は常駐でなくても何らかの方法で英語対応が可能で、地域の案内を提供できることが認定基準。

< 観光案内所の利用状況（単位：件） >

・伊勢市駅観光案内所

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
対面案内	3,915	4,715	3,860	3,341	3,598	3,866	4,931	5,655	4,643	4,573	4,041	4,831	51,969
うち外国人	328	238	192	193	185	206	283	248	131	96	135	197	2,432
電話案内	152	154	115	90	114	154	162	165	123	171	153	175	1,728

・二見浦観光案内所

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
対面案内	2,078	2,443	2,046	1,664	2,279	2,162	2,829	3,720	2,648	2,749	3,630	3,603	31,851
うち外国人	224	190	177	135	146	115	251	287	142	121	151	158	2,097
電話案内	33	43	47	41	40	50	59	42	55	52	47	63	572

< リモート案内（宇治山田駅、宇治浦田、外宮前、二見、五十鈴川駅、チャットの合計） >

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
案内	136	116	111	113	131	107	120	150	154	123	124	175	1,560
うち外国人	2	11	5	3	3	9	7	6	2	3	5	3	59

< 伊勢市駅手荷物預かり所の取り扱い個数（単位：個） >

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
荷物預かり	2,264	3,252	2,036	1,726	2,399	3,182	4,344	6,546	3,731	3,903	4,587	7,537	45,507
宿泊施設配送	809	1,210	718	549	694	922	1,299	1,771	973	924	1,097	1,570	12,536
計	3,073	4,462	2,754	2,275	3,093	4,104	5,643	8,317	4,704	4,827	5,684	9,107	58,043

（２）清掃業務

施設の衛生環境の維持並びに美化に努めるため、トイレ、喫煙所の日常清掃と年 2 回の定期清掃を行った。

委託期間：令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

委託金額：3,190,000 円

日常清掃実施場所：トイレ…宇治浦田観光案内所、伊勢市駅手荷物預かり所

喫煙所…宇治浦田街路広場、宇治山田駅前広場

定期清掃実施場所：伊勢市駅観光案内所、二見浦観光案内所、宇治浦田観光案内所、伊勢市駅手荷物預かり所

(3) 車いすの貸し出し

高齢者や身体の不自由な観光客が安心して市内観光できるよう、伊勢市駅手荷物預かり所と宇治浦田観光案内所で、車いすの無料貸し出しを行った。

<車いすの貸出状況（単位：台）>

	手荷物預かり所	宇治浦田
保有台数	3	5
貸出合計台数	281	607

(4) ベビーカーの貸し出し

乳幼児連れの観光客が市内観光を楽しむことができるよう、伊勢市駅手荷物預かり所と二見浦観光案内所において、ベビーカーの無料貸し出しを行った。

<ベビーカーの貸出状況（単位：台）>

	手荷物預かり所	二見浦
保有台数	1	1
貸出合計台数	30	0

(5) レンタサイクル

市内周遊を促進するため、(公社)伊勢市観光協会自主事業としてレンタサイクルの貸し出しを行った。

<レンタサイクルの貸出状況（単位：台）>

	手荷物預かり所
保有台数	30
貸出合計台数	2,644

※電動アシスト自転車 18 台、シティサイクル 12 台

3 観光協会負担金

(公社)伊勢市観光協会は、同業者組合の枠を超え、広く市内観光産業活性化のために活動している。公益社団法人という位置付けから、公平性を保ちつつ、行政よりも柔軟な動きが可能であり、また、観光地域づくりの司令塔でもある地域DMOとして、多様な関係者と協働しながら伊勢市の観光事業を行っている。

これらを踏まえ、財政基盤安定化を目的とした事務局人件費の一部負担（負担率 35%）と市協働事業の事務費負担（過去の経過と自主性を考慮して決定した負担率）を定めた覚書（令和 7 年 4 月 1 日から 1 年間）に基づき支援した。また、令和 8 年度の覚書の更新に向け、市と観光協会の関係及び負担のあり方について協議を進めた。

4 観光客受入基盤整備事業（観光振興課）

（1）参宮バス事業

朝熊山へ観光に訪れてもらうため、観光地としての朝熊山の認知度を高め、山上への唯一の公共交通機関として三重交通（株）と協働で参宮バスを運行した。

＜参宮バス 令和7年度利用状況＞

（単位：人）

発地	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
近鉄 五十鈴川駅	233	327	311	247	332	380	281	574	412	606	317	476	4,496
山上広苑	338	450	393	353	389	462	432	881	551	1,164	610	827	6,850
計	571	777	704	600	721	842	713	1,455	963	1,770	927	1,303	11,346

（2）二見浦海岸公衆トイレ清掃業務委託

二見浦において、障がい者、乳幼児連れ家族、高齢者、外国人等の多様な観光客に利用されるトイレとして衛生環境及び美化の維持に努めるため、日常清掃を行った。

委託期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

○ 選ばれる観光地づくり推進事業

（款）8.観光費（項）1.観光費（目）2.観光振興費

1 選ばれる観光地づくり推進事業

（1）伊勢市観光振興基本計画策定および推進、検証

伊勢市観光振興基本計画（令和4年度～令和7年度）が令和7年度に目標年次を迎え、伊勢市における観光施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、令和8年度から11年度までの4か年度を計画期間とする新しい観光振興基本計画を策定した。また、伊勢市観光振興基本計画に基づく取り組みの推進や検証を行った。

委託期間：令和7年7月14日～令和8年3月24日

委託金額：9,349,670円

（2）伊勢市観光客実態調査

観光客の旅行目的、滞在種別（日帰り・宿泊）、来訪手段、旅行費用、満足度等、当市を訪れる観光客の行動実態を明らかにするため、観光庁が定める「観光入込客統計に関する共通基準」に沿って、伊勢を訪れた観光客に対面式の聞き取り調査を実施した。

委託期間：令和7年2月19日～令和8年3月13日

委託金額：4,092,000円【債務負担行為】

調査地点：4か所（内宮周辺、外宮周辺、二見、河崎）

調査実施日（サンプル数）

（1期）令和7年4月26日、27日（448件）

（2期）令和7年7月5日、6日（517件）

(3期) 令和7年10月4日、5日(447件)

(4期) 令和7年11月15日、16日(404件)

(3) 内宮前観光地域力向上事業

内宮周辺をモデル地区とし、自然災害や感染症等を含む観光危機管理の視点から地域の観光事業者が現状抱える課題等を踏まえ、安全安心な観光地としての観光客受入対策を進めた。

ア 水害対策

出水期前の令和7年7月10日に、側溝清掃活動の実施や地域への啓発を行った。

イ 雑踏対策

伊勢市、伊勢警察署、地元自治会、伊勢おはらい町会議が連携し、道路占用に関する現状把握と啓発活動を行った。また、年末年始の雑踏対策として、伊勢警察署、伊勢おはらい町会議、(株)伊勢福、伊勢市で、過去の取り組みの共有、意見交換、連携確認を行い、実施内容の検討を行った。令和7年度は、おはらい町通りの混雑緩和のため迂回ルートを設定し、関係者が連携し、観光客への呼びかけを実施した。

ウ 観光危機管理計画の作成、避難訓練の実施

これまでの取り組みをまとめた、伊勢おはらい町観光危機管理計画を作成した。また、作成した観光危機管理計画に基づき、令和8年3月19日に避難訓練を実施した。避難訓練では避難誘導手順の確認や、支援物資の受付、配布シミュレーションを行った。

(4) バリアフリー観光推進事業

高齢化が進み、人口が減少していく中、高齢者や身体の不自由な人を含む、だれもが観光旅行を楽しむことができる体制を整え、観光客数を増加させることを目的に、平成23年度から受入環境向上のための取り組みを行っている。

ア 伊勢おもてなしヘルパー事業

高齢者や身体の不自由な人が、内宮を安心して訪れることができる環境を整えるため、平成27年5月に関係団体で「伊勢おもてなしヘルパー推進会議」を設立し、平成29年2月にサービス(伊勢神宮内宮での車いす利用者の参拝サポート)の提供を開始した。

令和7年度は、ニーズ把握のために過去の利用者へのアンケート調査を実施するとともに、視覚障がい者サポートの検討、サービス利用料金の改定を行った。また、新たな電動車いすの実証を行った。

おもてなしヘルパー活動実績

利用件数：178件

対応ヘルパー延べ人数：334人

関係団体：(公社)伊勢市観光協会、伊勢商工会議所、皇學館大学、伊勢おはらい町会議、
特定非営利活動法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター、伊勢市

イ バリアフリー観光情報発信事業

バリアフリーに関する施設の現地調査（外宮エリア7回、内宮エリア6回、二見エリア2回）を実施するとともに、地域内店舗からのバリアフリーに関する相談に対してアドバイスをを行った。また、現地調査の結果にもとづき、ウェブサイトの更新（42件）を行った。

ウ 観光施設における心のバリアフリー認定制度促進事業

市内の観光施設を対象に、観光庁が創設した登録制度である「観光施設における心のバリアフリー認定制度」の周知や登録促進を行った。また、バリアフリー周遊観光の利便性を高めるため、制度認定施設など伊勢志摩エリアのバリアフリー観光情報等をウェブマップで運用する取り組みを開始した。

委託期間：令和7年6月24日～令和8年3月23日

委託金額：1,817,420円

市内認定件数：宿泊施設19件、飲食店6件・観光案内所3件（令和8年3月末時点）

（5）地域観光魅力向上事業

観光庁補助事業「地域観光魅力向上事業」において、伊勢市が申請した事業「伊勢で学ぶ日本の心～日本人の精神性を探る文化体験の旅～」が採択されたことを受け、令和6年度に市内事業者や皇學館大学と連携して造成した観光コンテンツの磨き上げや情報発信・販路開拓、インバウンド対応等を実施した。

これらの取り組みにより、伊勢を深く理解できる付加価値の高い体験を国内外の旅行者に提供することで、伊勢や日本固有の文化を学ぶ意欲がある層へ販売促進を行うとともに、受入側と来訪者側の相互理解等を促進し、持続可能な観光地づくりへの寄与を目指している。

委託期間：令和7年6月20日～令和8年1月30日

委託金額：9,710,000円

（6）市内周遊サイクルルート調査業務委託

伊勢志摩地域自転車等活用推進計画に定めている、市内の魅力的な観光資源や施設等を結び、サイクリストが安全で快適に走行できるルートを策定するための調査を行った。

委託期間：令和7年10月16日～令和8年3月25日

委託金額：990,000円

2 外部活力導入事業

（1）外部活力導入事業

地域資源の利活用に向けて、地域外の人材を誘致し地域活動に従事してもらうことで地域力の維持・強化に取り組み、地域の活性化を図るため、地域おこし協力隊員を受け入れている。

令和7年度は、追加で1人を委嘱し、現在2人の協力隊員を受け入れている。

①観光魅力創出部門・企業協働型

令和8年3月末時点

氏名	着任日～任期満了日	転入元
山下 莉奈（やました りな）	6.11.26～9.11.25	岐阜県大垣市
塚副 友子（つかぞえ ゆうこ）	8.3.5～11.3.4	埼玉県志木市

○ 旅客誘致宣伝事業（款）8.観光費（項）1.観光費（目）3.旅客誘致費

Ⅰ スポーツ・MICE誘致推進事業

市内での集大会や合宿を誘致するため、一定の条件下において、市内宿泊者数に応じた補助金の交付事業を実施した。

＜実績（令和7年4月～令和8年3月）＞

交付件数：84件

補助金額：18,303,000円

宿泊者数（延べ）：22,033人

○ 観光客受入推進事業（款）8.観光費（項）1.観光費（目）3.旅客誘致費

Ⅰ 第73回伊勢神宮奉納全国花火大会

（1）大会概要

大会委員会に事務局として参画し、大会を開催した。

本大会は、北は秋田県、南は鹿児島県の全国各地から選抜された花火師が参加する競技花火大会である。打上花火の部（37社）、スターマインの部（10社）の2部門で競われ、競技大会ならではの格調、質ともに全国トップレベルの競技花火のほか、大会提供として前回大会準優勝者によるオープニングスターマインと前回大会優勝者による伊勢市制施行20周年を記念したスターマイン、フィナーレにはワイドスターマインを放揚し、花火玉約9,600発を放揚した。また、環境に配慮した取り組みとして、82人のボランティアの協力によるごみの持ち帰り及び分別ナビゲート活動を行った。

令和7年5月26日には、大会に先駆けて、大阪・関西万博の催事である「Japan Fireworks Expo」に、伊勢神宮奉納全国花火大会として参加し、大阪・関西万博会場にて花火を約5分間披露し、国内外にPRを行った。

開催日：令和7年7月19日

会場：宮川河畔（度会橋上流）

観覧数：約200,000人

工事関係（伊勢神宮奉納全国花火大会委員会発注）

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
中島二丁目 地内ほか	第73回伊勢神宮奉 納全国花火大会施設 工事	準備工 一式 放揚施設工 一式 栈敷工 一式 会場周辺安全施設工 一式 場内施設工 一式 付帯工 一式	円 39,377,800	7. 5.16	7. 8.15
〃	第73回伊勢神宮奉 納全国花火大会電気 工事	電灯設備 一式 仮設工事 一式	9,579,900	7. 5.13	7. 8.15
計	2件	—	48,957,700	—	—

2 観光客受入環境創出事業（観光振興課）

（1）（公社）伊勢市観光協会との協働事業

（公社）伊勢市観光協会と協働で、次の事業を実施した。

ア 第58回日本観光祈願祭

全国の観光関係者が伊勢に集い、観光の意義と重要性を認識し、健全な観光の推進をするために交流等を行った。

開催日：令和7年10月29日

開催場所：伊勢神宮（外宮）

イ 秋の行事

・観月茶会

伊勢の四季を感じるイベントの一つとして、神宮観月会に際して観月茶会を開催した。

開催日：令和7年10月6日

開催場所：せんぐう館休憩所

・御幣鯛

毎年10月12日、伊勢神宮の神嘗祭に合わせて、愛知県南知多町の篠島より神社港に訪れる関係者の方々を音花火で迎え入れ、花束と記念品の授与を行った。

ウ 越年行事

宇治橋の鳥居から日の出を見る冬至祭、神宮奉納餅つき行事を実施した。

開催日：令和7年12月25日

会 場：外宮・内宮神域内

エ 夜の魅力推進事業

夜の賑わい・周遊創出を目的に作成した「夜の飲食マップ」の情報更新および増刷を行い、宿泊施設に設置した。

(2) 共同パンフレット作成事業

伊勢を訪れる観光客の市内周遊を促すため、到着後に市内で使用する各種観光マップ・パンフレットを（公社）伊勢市観光協会と共同で作成し、観光案内所等で配布した。令和7年度は「てくてく市内マップ」「二見まちあるきまっぷ」「二見まちあるきまっぷ(英語)」「MAP OF ISE(英語)」「MAP OF ISE(繁体字)」「MAP OF ISE(仏語)」「ランチガイド」の情報更新および増刷を行った。

(3) 宮川堤公園観光客受入業務委託

日本さくら名所100選に選定されている宮川堤の桜の見頃に合わせ、仮設トイレの設置、交通警備員の配置等の受入環境整備を実施した。

委託期間：令和7年2月19日～4月30日

委託金額：5,186,115円【債務負担行為】

ライトアップ期間：令和7年3月27日～4月12日 18時から21時まで

(4) 駅前のイルミネーション設置

本市を訪れる観光客等の玄関口であるJR伊勢市駅前、近鉄宇治山田駅前において、市民などの駅利用者はもとより、来訪者のおもてなし、中心市街地の周遊性を高めることを目的として、冬期にイルミネーションの設置を行った。

イルミネーション点灯期間：令和7年10月31日～令和8年2月15日

工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
吹上1丁目 地内ほか	伊勢市駅前広場ほか イルミネーション設置工事	イルミネーション装飾工 一式 イルミネーション撤去工 一式	円 1,914,000	7. 9.24	8. 3. 6

(5) 伊勢志摩国立公園の振興

（一財）伊勢志摩国立公園協会、伊勢志摩国立公園自然ふれあい推進協議会、伊勢志摩国立公園地域協議会、国立公園関係都市協議会及び伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会に参画し、広域での連携強化を図った。また、国立公園関係都市協議会においては、国立公園の整備促進に関する協議、国立公園関係都市に共通する諸問題の解決を目的として国への要望等を行った。

(6) 伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム 2030

平成28年7月に伊勢志摩国立公園を含む全国8つの国立公園が、環境省の「国立公園満喫プロジェクト」における先導的モデルの一つに選ばれ、世界水準の「ナショナルパーク化」を目指すこととなった。これに伴い、平成28年12月に環境省、三重県等とともに「伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2020」を策定した。また、令和3年度からは「伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2025」として改訂し、伊勢志摩国立公園管内の景観・

環境等の整備を進めている。令和7年度は、「伊勢志摩国立公園ステップアッププログラム2030」の策定に向けた検討を行った。

3 二見ビーチ活性化事業

海岸周辺地域を観光資源として活用し、年間を通じて継続的に集客できるイベント等を（公社）伊勢市観光協会等と連携して開催し、二見地域への観光誘客と地域の活性化を図る取組を行ってた。

委託期間：令和7年5月15日～令和8年3月13日

委託金額：6,215,770円

（1）海水浴場管理運営

海水浴場の管理運営は、（公社）伊勢市観光協会へ委託し、駐車場管理、監視、巡視、救護等を行った。

開設期間：令和7年7月26日～令和7年8月17日

海水浴場開設日数：23日

海水浴客数（延べ）：3,611人

（2）二見周遊促進事業

海岸周辺地域の活性化を目的としたイベントを開催し、集客を図るとともに二見浦海水浴場のPRを行った。また、10月、11月及び2月～3月にもイベントの開催をした。

イベント名	開催日	開催場所	参加数
二見サマーフェスティバル	7. 8. 9	二見海水浴場周辺	人 延べ1,220
二見オータムフェスタinハロウィン	7.10.18	二見海水浴場周辺	延べ1,834
二見ヒーリングナイト	7.11.15	二見浦海岸周辺	延べ1,686
二見まち歩きスタンプラリー	8. 2. 7～ 8. 3. 8	二見地区周辺	延べ1,303

○ 民俗伝統行事継承事業（款）8.観光費（項）1.観光費（目）4.伝統文化継承費

Ⅰ 民俗伝統行事継承事業

（1）初穂曳実施負担金

伊勢神宮奉仕会主催の初穂曳に参画した。

開催日：令和7年10月15日、16日

内容：外宮領陸曳、内宮領川曳

（２）民俗伝統行事継承事業基金積立金

伊勢市民俗伝統行事継承事業基金条例に基づき、「お木曳行事」「お白石持行事」の円滑な実施と保存継承等を目的に、伊勢商工会議所、（公社）伊勢市観光協会と共に基金の積み立てを行った。

２ 民俗伝統行事推進事業

民俗伝統行事であるお木曳を推進するために官民協働で設置している伊勢御遷宮委員会が実施した下記事業に参画した。

（１）御樋代木奉迎奉曳事業

木曽地域より経由地の各地で奉搬奉送される御樋代木を次のとおり伊勢で奉迎奉曳し、お木曳行事に向けてまち全体での結束力を高めるとともに、機運醸成を図った。

また、前日の６月８日（日）御樋代木奉曳（陸曳）のぼせ車等を実施した。

開催日：令和７年６月９日 御樋代木奉迎奉曳（川曳）

令和７年６月１０日 御樋代木奉迎奉曳（陸曳）

参加人数：御樋代木奉迎奉曳（川曳）約 220 人の曳き手が参加

御樋代木奉迎奉曳（陸曳）約 600 人の曳き手が参加

内容：御樋代木奉迎奉曳（川曳） ソリ 3 台のお木 3 本を奉曳

御樋代木奉迎奉曳（陸曳） 奉曳車 1 台のお木 1 本を奉曳

（２）第一次お木曳行事事業

令和８年の第一次お木曳行事のＰＲとして、チラシ及びパンフレットの作成及び配布を行った。また、第一次お木曳行事に向けた準備として、どんでん場等の整備を行った。

（３）奉曳団組織支援事業

各奉曳団におけるお木曳行事の準備や、活動の記録、保存及び継承等に必要となる事業支援を行った。

支援数：69 奉曳団

補助金額：27,600,000 円（内訳：１奉曳団あたり 400,000 円）

（４）機運醸成・誘客事業

お木曳行事の周知・啓発を進めるとともに、若い世代の交流を推進するため、令和のお木曳フェス実行委員会が開催した「お木曳 決起の会（お木曳フェス）」を支援した。

開催日：令和７年５月 17 日（土）10：00～17：00

会場：外宮 北御門広場

内容：木遣りの披露（36 奉曳団）、奉曳車の展示実演、お木曳を知る体験するブース等

○ 観光交通対策管理事業

(款) Ⅰ.観光交通対策事業費 (項) Ⅰ.管理費 (目) Ⅰ.管理費

Ⅰ 宇治浦田街路広場公衆トイレ清掃業務委託【交通政策課から執行委任】

トイレの衛生環境を適切に保つため、日常清掃を行った。

委託期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

委託金額：5,588,000 円

○ 次世代のための文化芸術推進事業

(款) Ⅰ.教育費 (項) Ⅰ.社会教育費 (目) Ⅰ.文化振興費

Ⅰ ふるさと学習「せんぐう館見学」運営業務委託【文化政策課から執行委任】

市町村合併から20周年を迎えた令和7年、第63回神宮式年遷宮諸祭・諸行事が始まり、令和8年からは伊勢市の民俗行事でもあるお木曳行事が実施される。遷宮とまちづくりには深いかわりがあり、市民生活に密接しているが、コロナ禍により地域とのかかわりが希薄になったことや人口減少などにより、次世代への文化継承が課題となっていることから、次世代を担う子どもたちに、お木曳、遷宮をまちの文化として深く学ぶ機会を設け、文化継承の一助とすることを目的に観光振興課、文化政策課、学校教育課と協働で、市制施行20周年企画として「特別企画ふるさと学習「せんぐう館見学」～お木曳・遷宮からいせの文化を学ぶ～」を実施した。

開催日：令和7年8月6日（水）

会 場：せんぐう館

参加者：16人（子ども8人、保護者8人）

委託金額：199,000 円

観 光 誘 客 課

○ 旅客誘致宣伝事業（款） 8．観光費（項） 1．観光費（目） 3．旅客誘致費

Ⅰ ターゲット戦略推進事業

（1）公共交通機関タイアップ誘客キャンペーン

伊勢への来訪割合が第1位の北陸・中部地方（主に愛知県・岐阜県）、第2位の関西地方、第3位の関東地方からの新規誘客とリピーターを獲得し、滞在時間の延伸や市内周遊を促進するため、東海旅客鉄道（株）、名古屋鉄道（株）、近畿日本鉄道（株）とタイアップした誘客キャンペーンを実施した。

伊勢旅を連想させるポスター等を作成し、主要駅や旅行会社店頭、新幹線車内広告、東京駅八重洲口でのデジタルサイネージ等の展開を実施した。上期は令和7年4月1日から9月30日まで、下期は令和7年11月1日から令和8年3月31日まで、ポスターあるいはサイネージに掲出し、宣伝を行った。

委 託 先：（株）JR東海エージェンシー

委託金額：（上期）8,190,644円【債務負担行為】

（下期）8,335,844円

委託期間：（上期）令和7年2月20日～令和7年9月30日

（下期）令和7年7月25日～令和8年3月31日

（2）伊勢和紙布魅力発信事業

（株）山本寛斎事務所と企画した「伊勢市新ブランド構想」の具現化に向けて、令和6年度までに伊勢和紙を原料とした糸及び布「ISEWASHITEX」を開発し、商標登録申請を行った。令和7年度は、同商標の登録を完了し、ブランド展開に向けたロゴを制作した。また、ブランドの認知を広め製品製造及び販売事業者の参画につなげるため、報道機関等への情報提供を行うとともに、参画後の円滑な事業化を図るため、具体的かつ実施可能な手順書を作成した。

・業務全般

委 託 先：（株）山本寛斎事務所

委託金額：3,000,000円

委託期間：令和7年6月6日～令和8年3月27日

・商標登録

支 払 先：特許庁

登 録 料：65,800円

登 録 日：令和7年11月28日

(3) クリエイタータイアップ事業

令和2年度から令和4年度まで実施したクリエイターズ・ワーケーション促進事業に参加したクリエイターとのご縁を生かし、クリエイターが持つ新しい視点による伊勢の魅力あるスポットを発信し、市内の滞在時間延伸及び周遊促進を図るため、イラストレーターの柊有花氏とタイアップし、賓日館にて展覧会を開催する事業を実施した。

題 目：柊有花 絵と言葉の個展「記憶の函」in 伊勢

委 託 先：柊有花

委託期間：令和7年10月3日～令和7年12月26日

委託金額：495,000 円

期 間：令和7年11月8日～令和7年12月7日

場 所：賓日館 1階 旧客室（伊勢市二見町茶屋 566-2）

来館者数：2,630 人※期間中の賓日館来館者数

(4) 着地型旅行商品造成販売事業

伊勢来訪の動機付けや市内滞在時間の延伸、観光消費額を高めることを目的とし、多様化する旅行ニーズにも対応した事業企画や旅行商品の造成を行い、旅行会社やOTA（オンライン・トラベル・エージェント）を活用した販売促進や、関東、中部、関西、九州の旅行会社への企画提案と流通促進を行った。また、地元事業者との調整を行い、第63回神宮式年遷宮を見据え、取扱商品を拡大した。

委 託 先：三重交通（株）観光販売システム営業部

委託金額：3,014,000 円【債務負担行為】

委託期間：令和7年1月20日～令和8年3月31日

(5) オンライン総合旅行サイトプロモーション事業

伊勢への旅行意欲の喚起及び宿泊促進のため、令和7年9月8日から10月5日までの期間で、オンライン総合旅行サイト「楽天トラベル」内で情報発信を行った。あらかじめ伊勢市のふるさと納税の寄附実績を参考にターゲット層を設定し、ターゲットに合わせた特集ページ及びWEB広告の掲載を行った。

委 託 先：楽天グループ（株）

委託金額：2,997,500 円

委託期間：令和7年5月21日～令和7年12月3日

(6) ホームページを活用した情報発信

（公社）伊勢市観光協会と共同運営するホームページで、観光情報の発信を行った。

また、検索エンジンの検索結果を上位に表示させる取り組みであるSEO（Search Engine Optimization）対策として、SNSの運用や特集ページの制作を行った。（公社）伊勢市観光協会が任命している伊勢SNS観光アンバサダー（りほやん氏及び伊勢鈴蘭氏）を活用し、情報発信を行った。そのほか、第63回神宮式年遷宮と合わせた情報発信を強化するため、遷宮関係

の情報を掲載した特設ページを開設した。

年度	アクセス数	稼働日数	一日平均
3	491,095	365	1,345.5
4	1,060,966	365	2,906.8
5	1,247,389	366	3,408.2
6	1,638,701	365	4,489.6
7	1,613,488	365	4,420.5

(7) 観光パンフレットによる情報発信、観光 PR

(公社)伊勢市観光協会と観光パンフレットを共同作成し、観光案内所や旅行会社等での配布、個人の電話、メール、オンライン申請による送付依頼対応等、用途に応じて配布した。

また、大きな発信力が期待される首都圏、大阪府等で観光 PR 活動を行った。

<観光 PR 活動実施状況>

	実施内容（実施場所）	実 施 日	備 考
1	関西国際空港観光 PR （大阪府泉佐野市）	7. 5. 25	伊勢市主催
2	第 5 回三重県のいいもの・うまいものフェア （大阪府大阪市）	7. 5. 31～7. 6. 1	（公社）伊勢志摩観光コンベンション機構、鳥羽市、志摩市、伊勢市共同出展
3	御神木祭物産展 （長野県上松町）	7. 6. 5	伊勢市観光協会、伊勢市共同出展
4	大阪・関西万博「美し国みえ体験広場」 （大阪府大阪市）	7. 6. 19	三重県主催 商工労政課、観光誘客課共同出展
5	第 3 回 赤福氷と五十鈴茶屋～甘味めぐり～ （大阪府大阪市）	7. 7. 16～7. 7. 21	三重県関西事務所、伊勢市共同出展 ※伊勢市出展は 7. 7. 16 のみ
6	ISE SHOP (KITTE 大阪) （大阪府大阪市）	7. 8. 2～7. 8. 3	商工労政課事業
7	三重テラス in 大阪 （大阪府大阪市）	7. 8. 21～7. 8. 31 7. 9. 3～7. 9. 15	（公社）伊勢志摩観光コンベンション機構、志摩市、伊勢市共同出展 ※出展は 7. 8. 22、7. 9. 14
8	大阪・関西万博「美し国彩り三重バザール」 （大阪府大阪市）	7. 9. 3	三重県主催 商工労政課、観光誘客課共同出展

9	大阪・関西万博「～三重のお祭り大集合～MIE フェスティバル in EXPO」 (大阪府大阪市)	7. 9. 22	三重県主催
10	ツーリズム EXPO ジャパン 2025 (愛知県常滑市)	7. 9. 24～7. 9. 27	(公社)伊勢志摩観光コンベンション機構、鳥羽市、志摩市、南伊勢町、伊勢市共同出展 ※伊勢市参加は 7. 9. 26～7. 9. 27
11	伊勢の天然記念物 蓮台寺柿 期間限定販売 (兵庫県神戸市)	7. 10. 15～7. 10. 21	農林水産課事業 ※観光 PR 出展は 7. 10. 18～7. 10. 19
12	三重県フェア (イオンモール熱田) (愛知県名古屋市中区)	7. 11. 7～7. 11. 9	三重県主催 ※伊勢市出展は 7. 11. 8～7. 11. 9
13	FIELDSTYLE EXPO2025 (愛知県常滑市)	7. 11. 15～7. 11. 16	伊勢熊野観光連絡協議会事業
14	イオンモール大垣観光 PR (岐阜県大垣市)	7. 12. 20～7. 12. 21	伊勢市主催
15	ISE SHOP (たまプラーザ) (神奈川県横浜市)	8. 1. 16～8. 1. 29	商工労政課事業 ※観光 PR 出展は 8. 1. 17～7. 1. 18
16	伊勢の観光物産展 in 東京大神宮 (東京都千代田区)	8. 3. 7～8. 3. 8	(公社)伊勢市観光協会青年部主催
17	カーボンニュートラルを考える 2026 (千葉県千葉市)	8. 3. 20～8. 3. 21	東海旅客鉄道(株)、伊勢市共同出展

(8) 伊勢市スマートシティ推進フェローの委嘱

市の観光誘客施策における具体的な課題に関し、高度な知識や経験を有する者から個別に助言等を受けるため、令和7年4月1日付けて(株)XPJPの渡邊賢一氏に伊勢市スマートシティ推進フェローを委嘱した。

2 広域連携事業

近隣市町や県内外の関係機関との連携により、伊勢への誘客に取り組んだ。

- ・伊勢熊野観光連絡協議会・・・伊勢熊野地域の観光パンフレット増刷等
- ・(公社)三重県観光連盟・・・ホームページ「観光三重」による情報発信、季刊誌発行等
- ・伊勢鳥羽志摩観光連絡協議会・・・グッズ制作、動画制作及び発信、フィールドワーク等
- ・(公社)日本観光振興協会・・・国や自治体、関係団体や幅広い産業との連携事業
- ・歴史街道推進協議会・・・近畿地方の歴史街道を中心とした観光情報発信等
- ・風景街道「伊勢街道」連絡協議会・・・伊勢街道に関する観光振興等

- ・全国街道交流会議・・・街道を生かした観光振興等
- ・鳥羽港クルーズ船誘致受入協議会・・・大型クルーズ船の鳥羽港寄港を通じた観光 PR 等
- ・鳥羽商船高等専門学校との連携・・・地域産業の振興に関する取り組み
- ・大阪・関西万博・・・三重県ブース（関西パビリオン）、三重県催事での観光 PR 等

3 伊勢志摩広域観光活性化事業

（1）（公社）伊勢志摩観光コンベンション機構への参画

伊勢志摩地域への誘客のため、（公社）伊勢志摩観光コンベンション機構に参画し、伊勢志摩地域の観光情報発信事業、観光客やコンベンションの誘致促進、受け入れ体制の整備に関する事業等を展開した。

（2）フィルムコミッション事業

伊勢志摩地域での撮影に関する制作会社からの問い合わせ対応、ロケ候補地の提案、撮影許可に関する支援を実施した。また、映像作品を積極的に誘致するため、営業ツールとしてエコバッグ、ロケ地マップを作成し、制作会社への営業活動や、全国ロケ地フェア、釜山国際映画祭等に出展し、商談会を実施した。

（3）伊勢志摩学生団体誘致事業

伊勢志摩地域の行政、民間事業者等の協働による学生団体旅行誘致活動として、ホームページを活用した情報の発信、教育旅行ガイドブックの改訂・増刷、旅行会社への訪問セールス、国内の旅行業関係者の現地招聘事業等を実施した。また、訪日教育旅行誘致の強化のため、台湾向け教育旅行パンフレットの作成や、JNTO（日本政府観光局）と連携した台湾の学校関係者視察受入を実施した。

（4）インバウンド推進事業

欧米豪及びアジア圏をターゲットとし、観光関連事業者を対象とするセミナーの実施、ホームページ特集記事作成やパンフレット作成等情報発信ツールの強化、旅行会社等へのセールスや商談会出展、ファムトリップの受入、タイ及びフランスにおける旅行博出展のほか、（一財）関西観光本部と連携した広域周遊事業等を実施した。また、国内外の旅行会社へのセールスや商談を通じて、伊勢志摩地域へのインバウンド送客の推進を図った。

（5）国内誘客プロモーション事業

伊勢志摩地域への誘客及び広域周遊促進を図るため、いせしませんぐう旅事業と連動したプロモーションとして、「第5回三重県のいいもの・うまいものフェア」、「ツーリズム EXPO ジャパン 2025」へ出展したほか、三重テレビ放送「新・ええじゃないか」にて、伊勢志摩の観光情報を放送した。

（6）公共交通を活用した伊勢志摩周遊デジタル化推進事業（伊勢志摩観光型 MaaS）

デジタルマップでの情報検索、公共交通と連携したデジタルチケットの購入など、便利に利用できるサービス「伊勢志摩観光型 MaaS」を令和6年3月に開始し、新たなデジタルチケットの展開など、随時サービスの充実を行った。また、認知度向上及び利用拡大を図るため、令和7年7月15日から令和8年1月16日までの期間で、伊勢志摩の特産品などが当たるプレ

ゼントキャンペーンを実施したほか、令和7年9月13日から10月13日までの期間で、「アイドルマスター」とのコラボイベントとして、デジタルスタンプラリーやエリア内各所へのアイドルパネル設置等を実施した。さらに、サービスの利用方法をシーン別に紹介したプロモーション動画を制作し、SNS等のWEB広告で配信した。

(7) 地方における高付加価値なインバウンド観光地づくりモデル観光地事業

DMC（地域の観光資源を活用し、旅行商品の企画・販売や受入体制の整備等を一体的に担う組織）設立に向けた準備として、マスタープランに基づき、伊勢志摩地域のコンセプトや魅力を整理したブランドブックを作成し、海外の旅行会社等への販売に向けた営業ツール・情報発信力の強化を図るとともに、ガイド育成のための教習本「Iseshima スイッチ」の作成、タクシーサービスの価値基準とガイドラインの作成による二次交通の受入体制強化、宿泊施設への課題ヒアリングやWebサイト等の環境整備、コンテンツの造成・磨き上げを実施した。また、DMCへの将来的な事業移譲を見据え、事業者向けの商談会（シンガポール）や一般消費者向けのイベント（サンディエゴ）、メディア招請・掲載等により、高付加価値市場とのコネクション形成を行うとともに、地域事業者等と伊勢志摩観光の将来像を共有・検討する共創型ワークショップを実施し、地域内の機運醸成を図った。

4 外国人観光客誘致推進事業

各団体への参画や連携による取り組みと市単独の取り組みでターゲット地域を分け、誘客事業を展開した。また、外国人観光客誘致を戦略的に推進するため、企業から専門知識とノウハウを有する人材の派遣を受け入れた。

(1) 各団体連携事業

ア 協議会事業

（公社）三重県観光連盟インバウンド委員会、JNTO（（独）国際観光振興機構）、（公社）日本観光振興協会等へ参画し、海外に向けた三重県や伊勢志摩地域のPR、観光パンフレットの海外発送等を行った。

イ （公社）伊勢市観光協会協働事業

外国語（英語・フランス語）版の観光パンフレットの改訂・増刷を行い、各種団体事業やイベントでの活用を行った。また、外国人の視点で伊勢の「文化」「食」「観光スポット」等のテーマを掘り下げた動画制作、令和8年3月27日から29日にはシンガポール旅行博（NATAS 2026）での観光PRを実施した。

(2) 市単独事業

ア 外国人短期留学生招聘及び情報発信事業

外国人が伊勢についての正しい理解を深め、学んだ内容や感じたこと等をインターネットを通じてリアルタイムに発信することで、世界の中での伊勢の認知度向上を図ることを目的に、皇學館大学と協働で外国人短期留学生を招聘し、令和8年2月16日から3月5日まで12人（国外9人、国内3人）を受け入れた。

委 託 先：（学）皇學館 皇學館大学

委託金額：4,771,470 円

委託期間：令和7年9月8日～令和8年3月24日

イ 「The Study of ISE」ブランディング戦略事業

これまでに造成・販売を行った「精神的な豊かさを求める人々」（SBNR層：Spiritual But Not Religious）向けの旅行商品の販売を増進するため、欧州旅行会社や市内観光関連事業者と連携し、旅行商品を充実させるとともに、当該旅行会社の持つ顧客に対して SNS による情報発信を実施した。また、欧州からインフルエンサーを招聘し、撮影した映像等を自身の SNS 等で情報発信した。

委 託 先：（株）XPJP

委託金額：5,610,000 円

委託期間：令和7年5月28日～令和8年3月23日

ウ 日本コンシェルジュ協会会員ファムツアー実施事業

訪日外国人旅行者のタビナカでの誘致を推進するため、宿泊施設等において訪日外国人旅行者に観光目的地の情報を提供する、日本コンシェルジュ協会所属のコンシェルジュを対象としたファムツアーを令和7年9月24日～25日に実施した。ファムツアーでの体験のフィードバックや日本コンシェルジュ協会内での情報共有により、訪日外国人旅行者の満足度向上と誘客促進を図った。

委 託 先：（株）JTB 三重支店

委託金額：782,591 円

委託期間：令和7年9月9日～令和7年10月10日

エ 国内ランドオペレーターファムツアー実施事業

欧州からの訪日外国人旅行者の誘致を推進するため、欧州市場において高い影響力を有するランドオペレーター2社の商品企画担当者を対象としたファムツアーを令和8年2月18日～20日、24日～26日の2回に分けて実施した。商品企画担当者からの意見聴取を行い、今後の訪日外国人旅行者の受入体制や体験メニューの磨き上げに繋げるとともに、旅行商品造成に向けた調整を行った。

委 託 先：（株）JTB 三重支店

委託金額：879,197 円

委託期間：令和8年2月4日～令和8年3月9日

オ 訪日外国人旅行者向け観光コンテンツ造成販売調査事業

欧米市場において高い販売力を有する旅行商品取扱事業者を調査員として招聘し、伊勢の歴史・文化等に関する観光コンテンツの調査を令和8年3月10日～11日に実施した。調査員からの意見聴取を基に、欧米向け観光コンテンツの造成と販売促進に向けた課題の整理を行った。

委 託 先：（株）JTB グローバルマーケティング&トラベル

委託金額：137,500 円

委託期間：令和 8 年 3 月 9 日～令和 8 年 3 月 16 日

カ 欧米 PR 事業に係る現地調査及び欧州旅行会社誘客セールス等の実施

令和 8 年 3 月 23 日～26 日、欧米 PR 事業に向けた現地調査、また、欧州からの誘客促進のため英国とフランスの旅行会社を訪問し、誘客セールスを実施した。

(3) 外部人材の活用

観光客の増加が期待される令和 15 年予定の第 63 回神宮式年遷宮に向け、インバウンド誘客を戦略的に推進していくため、総務省の地域活性化起業人制度（企業人材派遣制度）を活用し、令和 7 年 10 月 1 日より、専門知識・ノウハウを有する人材の派遣を受け入れた。

・地域活性化起業人制度による派遣に関する協定

協定締結先：（株）JTB

協定期間：令和 7 年 10 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

支 出 額：3,495,934 円

・外部人材の主な取組

旅行会社への誘客セールス

ランドオペレーターを対象としたファムツアー

旅行商品造成に向けた調整 など

5 旅客誘致推進事業

(1) 伊勢市の観光 PR キャラクターを活用した誘客推進活動

伊勢市の観光 PR キャラクターである「はなてらすちゃん」について、印刷物や商品等に使用できるイラスト・ロゴの提供や、市・民間団体等が主催するイベント等への着ぐるみの貸し出しを行った。

イラスト・ロゴ使用件数：42 件

着ぐるみ貸出件数：9 件

(2) 誘客宣伝にかかる広告掲載事業

観光客の誘致を目的として、誘客に効果的な新聞等の広告媒体を活用し、伊勢の観光情報の発信を行った。

<掲載実績>

	媒体名	発行部数	掲載日	地域
1	聖教新聞	468,000	7. 7.13	愛知・岐阜・三重
2	奈良新聞	99,250	7. 7.18	奈良・京都
3	旬刊旅行新聞	32,000	7. 7.31	全国
4	聖教新聞	5,500,000	7.10.19	全国
5	信濃毎日新聞（年賀広告）	378,903	8. 1. 1 8. 1. 3	長野
6	伊勢新聞	100,580	8. 2. 1	三重・東京
7	旬刊旅行新聞	32,000	8. 2. 1	全国
8	中日新聞	1,727,398	8. 3.12	愛知・岐阜・三重・ 静岡・滋賀・長野・ 福井

6 御遷宮誘客宣伝事業

(1) 東京ラジオ局タイアップ誘客事業

令和 15 年の第 63 回神宮式年遷宮に向け、より一層伊勢を PR し、誘客に繋げるため、重点取組地域の一つであり、情報発信の中心である関東地方において、(株)エフエム東京とタイアップし、鈴木おさむ氏と陣氏 (THE RAMPAGE from EXILE TRIBE) がパーソナリティを務めるラジオ番組「JUMP UP MELODIES」を通じて、伊勢の魅力を関東地方全域へ放送した。また、リスナー参加型ツアーを開催し、ツアーの様子を番組内でダイジェスト放送した。さらに、同局の他の人気番組「Blue Ocean」「山崎怜奈の誰かに話したかったこと。」への鈴木氏のゲスト出演や、番組ホームページ、SNS 等を活用し、情報発信を行った。

委 託 先：(株)エフエム東京

委託金額：4,950,000 円

委託期間：令和 7 年 8 月 15 日～令和 8 年 1 月 30 日

番組放送日：

- ・「JUMP UP MELODIES」：令和 7 年 9 月 5 日～令和 7 年 9 月 26 日の毎週金曜日、令和 7 年 11 月 28 日
- ・「Blue Ocean」：令和 7 年 11 月 24 日
- ・「山崎怜奈の誰かに話したかったこと。」：令和 7 年 11 月 27 日

ツアー実施日：令和 7 年 11 月 9 日～令和 7 年 11 月 10 日

(2) いせしませんぐう旅事業

伊勢志摩エリアへの興味関心層や宿泊者数増加を目的に、官民参画による実行委員会（委員 33 団体。事務局：伊勢志摩観光コンベンション機構）において、「神宮」や「遷宮」をテーマとした地域プロモーションとして、公共交通機関との協働によるラッピング車両の運行、プロモーション動画の制作及び動画サイトでの発信を行った。また、受入環境の整備としていせしませんぐう旅キックオフイベント記念コラボ商品の募集・認定及び特設サイトへの掲示を実施し、地域の機運醸成として、おもてなしの意識向上を目的とした講演会を開催した。

(3) 御遷宮を契機とした旅客誘致促進事業

令和 15 年予定の第 63 回神宮式年遷宮諸祭・諸行事を契機とした伊勢のプロモーションと旅客誘致を促進し、遷宮をキーワードとした伊勢のファンづくりと、遷宮、諸祭・諸行事の認知度向上を図るため、遷宮の意義理解や興味につながるような旅行商品の造成及び流通促進を実施しているほか、リーフレットの作成や、特設サイトの開設、地上波テレビ、雑誌などによる情報発信を行った。

委 託 先：三重交通（株）観光販売システム営業部

委託金額：9,955,000 円

委託期間：令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日